

講義内容

医療健康科学部

2006
(平成18)
年度

講 義 内 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	21
(1)	人 文 分 野	21
(2)	社 会 分 野	40
(3)	自 然 分 野	63
(4)	総 合 分 野	72
3	外 国 語 科 目	81
4	保 健 体 育 科 目	113
II	専 門 教 育 科 目	131
III	「日本語」・「日本事情」科目	183

全 学 共 通 科 目	宗教教育科目
	人文分野
	社会分野
	自然分野
	総合分野
	外国語科目
	保健体育科目
	専門教育科目
	「日本語」
	「日本事情」

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	放1必	通年	4	奥野光賢	9
仏教と人間〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	4	晴山俊英	10
仏教と人間〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	4	岡本一平	10
仏教と人間〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	4	古山健一	11
仏教と人間〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	4	吉津宜英	12
文化と宗教	放選	通年	4	長谷部八朗	12
社会と宗教	放選	通年	4	池上良正	13
自然と宗教	放選	通年	4	小川順敬	13
坐禅	放選	半期	2	佐藤秀孝 熊本英人	14

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間	おくのみつよし 奥野光賢

講義のねらい

本学は仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講座が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を中心とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、下記に指定する教科書によって進める。教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。

(前期)

- (1～2) 信教の自由について
- (3～4) 宗教の分類
- (5～6) さまざまな宗教
- (7～9) 仏教の誕生—釈尊の伝記
- (10～12) 釈尊の説いた道—四諦・八正道
- (13) 前期のまとめ

(後期)

- (14～15) 戒・定・慧、戒と律
- (16～17) 仏教の流れ—原始仏教・部派仏教・大乘仏教
- (18～19) 小乗仏教と大乘仏教
- (20～21) 大乘仏教の教え—六波羅蜜
- (22～23) 四摂法・四無量心について
- (24～25) 曹洞宗の歴史と教えについて
- (26) 後期のまとめ

履修上の留意点

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。但し、一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業は決して宗教として「仏教」の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。なお、授業中の私語、携帯電話の受信等は厳禁とする。指示を守れない人は退出させるので、あらかじめ留意しておいて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。試験は教科書・参考書等の持ち込みを不可とする。なお、年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）定価1,400円（税別）を教科書とする。その他、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

そ の 他

「医療健康科学部」という性格に鑑み、「安楽死」「尊厳死」といった問題等についても考察してみる予定である。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	ほれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	おか もと いっ べい 岡 本 一 平

講義のねらい

仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では世界各国の仏教徒たちによっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情との関連を念頭におきながら講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、仏教について考えるための材料を多く手にすることが出来るようになります。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：仏教の思想と歴史に関する概論

①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想

後期：日本における仏教について

①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教

履修上の留意点

講義形式で行います。筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁で、場合によっては退席してもらいます。質疑は大歓迎です。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。場合によって小テストを実施します。

教 科 書

プリントを配布します。

参 考 書 等

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2003年

袴谷憲昭『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科 目 名	担 当 者 名
仏教と人間〔再クラス〕	ふる やま けん いち 古 山 健 一

講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、さまざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、仏教の出発点とその後の展開についてを学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、特に現代タイの開発僧における「開発」の思想を取りあげて、これを見てゆきたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

教 科 書

プリント随時配布する。

参 考 書 等

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）2,100円 ISBN4393106040
 中野元・三枝充恵『バウツダ・佛教』（小学館）3,262円 ISBN4095580011
 西川潤・野田真里編『仏教・開発・NGO タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』（新評論）
 3,465円 ISBN4794805365

科目名

担当者名

仏教と人間(再クラス)

よしず よしひで
吉津 宜英

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名

担当者名

文化と宗教

はせべ はちろう
長谷部 八郎

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
社会と宗教	池 上 良 正 <small>いけがみ よし まさ</small>

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論、グローバル化と宗教などの問題を検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解をふまえて、近代国家と宗教との関係について考える。近年の「靖国問題」を考える手がかりなども探してみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
自然と宗教	小 川 順 敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名
坐禅	<small>まとう</small> 佐藤 <small>しゅうこう</small> 秀孝・ <small>くまもと</small> 熊本 <small>えいじん</small> 英人

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

人文分野

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学〔日本文学「古典」〕	放選	通年	4	伴野英一	21
文学〔日本文学「古典」〕	放選	通年	4	八島由香	21
文学〔日本文学「近代」〕	放選	通年	4	川島淳史	22
文学〔日本のことば〕	放選	通年	4	中西亮太	22
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	放選	通年	4	田中保	23
文学〔外国文学「中国文学」〕	放選	通年	4	佐藤普美子	23
文学〔日本文学「古典」〕	放選	通年	4	鈴木裕子	24
文学〔日本文学「近代」〕	放選	通年	4	小林治	24
文学〔日本文学「古典」〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	田中伸作	25
文学〔日本文学「近代」〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	中西亮太	25
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	放選	通年	4	河谷淳	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	放選	通年	4	滝口清栄	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	放選	通年	4	鈴木聡	27
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	放選	通年	4	山口祐弘	28
論理学〔知の技法〕	放選	通年	4	伊古田理	29
論理学〔知の技法〕	放選	通年	4	植野公稔	30
論理学〔科学方法論と現代論理学〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	伊古田理	30
論理学〔科学方法論と現代論理学〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	麻生享志	31
倫理学(1)〔人間観〕	放選	通年	4	古田知章	32
倫理学(2)(7)〔応用倫理学〕	放選	通年	4	黒崎剛	33
倫理学(3)〔価値観〕	放選	通年	4	滝沢正之	33
倫理学(4)〔応用倫理学〕	放選	通年	4	麻生享志	34
倫理学(5)〔制度とモラル〕	放選	通年	4	滝口清栄	34
倫理学(6)〔東洋倫理〕	放選	通年	4	末木恭彦	35
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	放選	通年	4	池上良正	36
宗教学(2)〔聖と俗〕	放選	通年	4	田中かの子	37
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	放選	通年	4	小川順敬	37
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	放選	通年	4	矢野秀武	38
宗教学(5)〔生活と宗教〕	放選	通年	4	菅原壽清	38
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	放選	通年	4	浅川泰宏	39
宗教学〔比較宗教文化〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	田中かの子	39

(2) 社会分野

人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学 〔現代社会を考える〕 〔現代文化を考える〕 〔社会生活を考える〕	放選	通年	4	呉炳三	40
社会学〔社会生活を考える〕	放選	通年	4	小畑和	41
社会学〔現代社会を考える〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	呉炳三	42
社会学〔現代文化を考える〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	橋爪敏	42
文化人類学〔文化と人間〕	放選	通年	4	加藤之晴	43
文化人類学〔文化と人間〕	放選	通年	4	森雅文	43
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	放選	通年	4	杉井純一	44
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	放選	通年	4	鈴木一馨	45
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	放選	通年	4	矢野秀武	46
文化人類学〔社会変化と価値観〕	放選	通年	4	内山明子	46
文化人類学〔社会変化と価値観〕	放選	通年	4	小川順敬	47
文化人類学〔文化と人間〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	川上新二	47
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	杉井純一	48
法学・憲法〔法と社会生活〕	放選	通年	4	鶏徳啓登	49
法学・憲法〔法と社会生活〕	放選	通年	4	沼田雅之	50
法学・憲法〔法と社会生活〕	放選	通年	4	長谷川日出世	51
法学・憲法〔法と社会生活〕	放選	通年	4	和知恵一	52
法学・憲法〔法と権利〕	放選	通年	4	沼田雅之	53
法学・憲法〔法と国家〕	放選	通年	4	織田晃子	54
法学・憲法〔法と国家〕	放選	通年	4	佐藤多美夫	55
法学・憲法〔法と国家〕	放選	通年	4	新田浩司	56
法学・憲法〔法と権利〕	放選	通年	4	茂野隆晴	57
法学・憲法〔法と権利〕	放選	夏季集中	4	池田実	58
法学・憲法〔法と権利〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	鶏徳啓登	59
法学・憲法〔法と社会生活〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	長谷川日出世	59
経済学〔現代社会と市場経済〕	放選	通年	4	畠中貴	60
経済学〔現代経済と人間〕	放選	通年	4	森田成也	61
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	放選	通年	4	佐藤綾野	62
経済学〔現代経済と人間〕 —フレックスB開講—	放選	通年	4	沼田郷	62

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
基礎数学	放1必	半期	2	熊坂さつき	63
基礎物理学	放1必	半期	2	佐藤昌憲 北沢日出男	64
基礎化学	放1必	通年	2	原田和正	64
生命科学	放1選必	半期	1	清水善和	65
情報処理技術	放1選必	半期	1	近藤啓介	67
物理学序論	放1選必	半期	1	佐藤昌憲 北沢日出男	67
化学序論	放1選必	半期	1	山本裕右	68
科学基礎論	放1選必	半期	1	氏家盛通	69
科学基礎論	放1選必	半期	1	熊坂さつき	69
科学基礎論	放1選必	半期	1	近藤啓介	70
科学基礎論	放1選必	半期	1	佐藤昌憲	70
科学基礎論	放1選必	半期	1	山本裕右	71
科学基礎論	放1選必	半期	1	吉川宏起	71

(4) 総合分野

人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	放選	通年	4	ピアス, D. M.	72
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	放選	通年	4	岡崎寿一郎	73
総合Ⅲ(3)〔ドイツの森林〕	放選	通年	4	野島利彰	73
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	放選	通年	4	林明人	74
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	放選	通年	4	西村祐子	74
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	放選	通年	4	丸小哲雄	75

科目名	担当者名
文学〔日本文学「古典」〕	伴野英一

人
文
分
野

講義の内容・授業スケジュール	いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。
成績評価の方法	出席点と年度末試験を重視する。受講態度も評価に加味する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。及び、年度末試験の得点が六十点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。
参考書等	その都度、講義中に指示する。

科目名	担当者名
文学〔日本文学「古典」〕	八島由香

講義のねらい	平安後期物語を〈読む〉
講義の内容・授業スケジュール	『源氏物語』の影響を多大に受けながらも、独自のストーリー展開をさせていこうと、趣向をこらしているのが、一般的に「平安後期物語」と称される『狭衣物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『とりかへばや物語』『堤中納言物語』といった、『源氏物語』以後の物語です。これらの作品の場面をいくつか取り上げ、実際にその本文に触れながら解説を加えることによって内容・特色を理解し、その上で物語文学における平安後期物語のあり方について考えたい。
履修上の留意点	出席に関して。出席数が年間を通じて講義数の3分の2に達しない場合、単位を認定しません。また、講義開始時間から、15分以上の遅刻は出席としません。15分以内の遅刻は2回で欠席1回と数え、遅刻が前・後期各4回を数えた時点で単位を認定しません。事前に届け出があり、なおかつその理由が認めうる早退に関しては、遅刻同様の扱いとします。
成績評価の方法	出席状況と講義時間内で度々行う小レポートによって評価します。期末レポートや期末テストの実施はいたしません。小レポートは、講義が終了した後、講義内容に関する設問をし、それについて10～15分程度の時間で答えていただくものです。A、B、C、Dの4段階で評価をします。また、時には小レポートで感想・意見を求めることもあります。こちらは評価の対象とはしません。なお、評価をした小レポート並びに感想・意見を求めた小レポートに関しては、できるかぎりコメントを付けた上で、講義時間内に返却することを考えています。
教科書	大槻修編『平安後期物語撰』（和泉書院）1545円
参考書等	適宜、教場で指示します。
その他	教科書を用いての講義形式です。必ず教科書を購入して下さい。また、必要に応じてプリントを配布いたします。講義の初回は講義内容や評価方法の説明をするため、2回目の講義から出席をとります。ただし、講義内容や評価方法、並びに履修上の留意点（出席）などの詳しい説明は、以後繰り返して説明しません。なお、受講を希望する4年生は、別に出席に関する説明がありますので、3回目までには必ず出席して下さい。

科 目 名	担 当 者 名
文学〔日本文学〔近代〕〕	川 ^{かわ} 島 ^{しま} 淳 ^{あつ} 史 ^し

講義のねらい

日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治二十年代から三十年代にかけての時代状況を見据えつつ、近代文学の成立過程を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は日清戦争前後から日露戦争前後にかけての文壇の動向を中心に考察していきたい。この時期、日本は政府の主導により、積極的に近代化を推進し、西洋の思想・技術・文明を摂取して、国民国家を形成していった。しかし、その性急な近代化は他方でさまざまな社会問題を引き起こす原因ともなったのである。そのような時代状況のなかで、文学者たちはそれをどのように見つめ、作品に書きあらわしていったのか。森鷗外、北村透谷、泉鏡花、川上眉山、広津柳浪、樋口一葉、内田魯庵などの作品を通して「日本の近代」の諸問題を検討していきたいと思う。

履修上の留意点

この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してこよう。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくことが必要。

成績評価の方法

講義で問題提起した事柄を各自考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。提出の期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。

教 科 書

詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本などの入手しやすいものは各自で購入してもらおう。

参 考 書 等

その都度、講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名
文学〔日本のことば〕	中 ^{なか} 西 ^{にし} 亮 ^{りょう} 太 ^た

講義のねらい

近代短歌の主要な歌集と歌論を読み、近代短歌史の流れを概観します。短歌は五句三十一音を基本型とする、たいへん短い定型詩です。その短い形を生かすために、歌人は名詞や動詞はもちろんのこと、助詞や助動詞といった一見目立たない〈ことば〉の要素にまで気を配ります。したがって、読者の側も、短歌を読むときには、一字一音にまで注意を払って読み、味わうことが必要です。例えば〈背のびして唇づけ返す春の夜のころはあはれみづみづとして〉(中城ふみ子『乳房喪失』)という歌がありますが、この歌の舞台が他の季節でなく〈春〉であることは、歌全体にどのような効果を及ぼしているのでしょうか。この講義ではそのような細かいところまで光を当てつつ、近代の歌人がどのような表現作法を採り、どのような世界を表現したかを見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

この講義で扱う時代は、明治三十年前後から昭和三十年頃までです。取り上げる歌人は、正岡子規、与謝野鉄幹、与謝野晶子、石川啄木、斎藤茂吉、北原白秋、會津八一、土屋文明、前川佐美雄、斎藤史、塚本邦雄等を予定しています。前期の講義は、明治から大正の前半まで進みます。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。また、不定期にレポートを課す予定です。

教 科 書

安森敏雄・末竹淳一郎編『近代短歌と現代短歌』(双文社出版)
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配布します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科目名	担当者名
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中保

講義のねらい

アメリカ文学を概観する授業です。ある程度アメリカ文学史に沿って授業を進めていきますが、今年は各時代の歴史と文化を背景にした主な作品を取り扱って、アメリカという国を歴史的、文化的側面から考察していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は足早にアメリカ文学を概観しながら、主な作品を紹介して行きます。
後期は受講者が各自主な作品の中から関心のある作品を選んで、ひとりで或いはグループ編成をして発表していただく予定です。

履修上の留意点

アメリカ文学作品を実際に読んで、作品を通してアメリカという国を考えてみて下さい。

成績評価の方法

前期・後期のレポート、発表、出席状況等で総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しませんが、参考書等は適宜紹介します。
必要に応じてプリントを配布します。

その他

いささかでもアメリカ文学に触れてみたいと思うひとは受講して下さい。

科目名	担当者名
文学〔外国文学「中国文学」〕	佐藤普美子

講義のねらい

90年代以降、政治・経済面で著しい変化を見せている中国では、文学はどのような状況を呈しているのだろうか。文学者たちの多種多様な試みを、具体的作品を通して紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト（全10章）の各章について2回の講義で解説をします。
毎回授業の最後に、その回の中心テーマについて質問をしますので、自分の考え・感想等を書いて提出していただきます。

成績評価の方法

出席点、前期末・後期末レポートにより、総合的に評価します。

教科書

『「規範」からの離脱—中国同時代作家たちの探求』（山川出版社）1,890円

参考書等

開講後、適宜紹介。

科目名

担当者名

文学〔外国文学〔古典〕〕

すずきひろこ
鈴木裕子

人文分野

講義のねらい

和歌で読む『源氏物語』
古典の物語において和歌は重要な役割を果たしている。今回は、特に『源氏物語』を取り上げ、作品を読みながら和歌がどのように用いられているか、見ていくことにする。和歌を読み解くことで、作中人物の状況や心情、意思、あるいは無意識の深層まで理解することができるとおもしろい。

講義の内容・授業スケジュール

古典和歌になじみのない人のために、始めは現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかについて確認する。次に、原文から精選した場面を読みながら、和歌の機能について理解を深めていければよいと考えている。
(前期) ・『源氏物語』概説 (さまざまな現代語訳)
・第一部の物語世界から (藤壺・中の品の女たち・六条御息所の歌など)
(後期) ・第二部の物語世界から (紫の上・女三の宮・明石の一族の歌など)
・第三部の物語世界から (薫・宇治の姉妹・浮舟の歌など)

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となろうが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

前期・後期にそれぞれ一度ずつ行う試験 (論題等は授業時に提示) ・授業態度 (欠席・遅刻をしないことは前提) ・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

俵万智『愛する源氏物語』(文藝春秋社)、その他プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名

担当者名

文学〔日本文学〔近代〕〕

こばやしおさむ
小林 治

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

安部公房『砂の女』
深沢七郎『檀山節考』
上野英信『追われゆく坑夫たち』

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』(新潮文庫) 552円
安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』(新潮文庫) 514円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名
文学〔日本文学「古典」〕 —フレックスB開講—	たなか しんまく 田 中 伸 作

講義のねらい	軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。 また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。
講義の内容・授業スケジュール	『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。
成績評価の方法	定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。
教科書	『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名
文学〔日本文学「近代」〕 —フレックスB開講—	なか にしりょう た 中 西 亮 太

講義のねらい	この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」（斎藤史『魚歌』）
講義の内容・授業スケジュール	取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。
履修上の留意点	当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。
成績評価の方法	前期末と後期末に、試験を実施します。
教科書	高野公彦編『現代の短歌』（講談社学術文庫） また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。
参考書等	『短歌シリーズ・人と作品』（桜楓社） このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名

論理学〔科学方法論と現代論理学〕

担当者名

かわ くに あつし
河 谷 淳

人文分野

講義のねらい

私たちが日常生活や就職活動においてまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこには思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、友人との何気ない会話にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした前提から結論への妥当な「流れ」（推論の形式）とはどのようなものであるのかを考える学だと言うことができる。この授業の目的は、「論理的である」とは一体どういうことなのかを考え、さらに、練習問題を解くことで様々なタイプの推論の妥当・非妥当性を判定するトレーニングをつんでもらうところにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期：伝統的論理

- (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）
- (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）
- (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）

後期：現代論理（記号論理）入門

- (d) 命題論理（日常言語の記号化と推論の証明）
- (e) 述語論理（日常言語の記号化と推論の証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

科目名

論理学〔科学方法論と現代論理学〕

担当者名

たき ぐち えい
滝 口 清 栄

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。このように振り返るなら、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなからうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えてくるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとするよう、思考の諸法則を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていく。前期では、概念、命題、演繹推理を中心に、そして後期は機能推理、虚偽論、そして命題論理を扱う。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解くように努める。出席をよくしてほしい。

成績評価の方法

年間5回の小テストで成績を出す。

教科書

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

参考書等

講義中に紹介する。

科目名

担当者名

論理学〔科学方法論と現代論理学〕

すずき 聡
鈴木 聡

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

人文分野

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
(a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
(a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
(a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対応
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名

担当者名

論理学〔知の技法〕

うえのきみとし
植野公稔

人文分野

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいていってほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしていってくれるのなら、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名

担当者名

論理学〔科学方法論と現代論理学〕

いこた
伊古田 理

—フレックスB開講—

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法
- (2) 公理系 I～命題論理
- (3) 公理系 II～述語論理
- (4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名

担当者名

論理学(科学方法論と現代論理学)

あさ お たが し
麻 生 享 志

—フレックスB開講—

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

人
文
分
野

科目名

担当者名

倫理学(1)〔人間観〕

ふる た とも あき
古 田 知 章

人
文
分
野

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる(各項目ごとに、2~4回の講義)。人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために一
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革ー新しい時代の人間観
 1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 ーロックを手がかりにー
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（2）（7）〔応用倫理学〕	黒崎剛

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなしなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（3）〔価値観〕	滝沢正之

講義のねらい

ねらいは二つある。
 第一に、近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を丁寧に紹介すること。我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることがわかってくる。カントを手がかりに、倫理学の基本的な問題を体系的に考えてみたい。たとえば、他人の幸せのために嘘をついてもいいのだろうか。
 第二に、現代に我々が生きる際に考えなければならぬ問題を、できるだけ多く紹介すること。カントの検討だけでは提示しきれない論点を挙げていきたい。たとえば、戦争、差別、宗教原理主義、少年犯罪など。難しい問題が多いので解決を提示するのは無理であろうが、考え方の方向性くらいは示したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の紹介を行い、後期に現代の諸問題の検討を行う予定。細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	担当者名
倫理学(4)〔応用倫理学〕	あざし 麻生 享

講義のねらい	応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。(これを倫理学・哲学で“実存的”問いと呼んだりする)ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	倫理学(理論的倫理学)の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。現在、東大文学部21世紀COE「死生学の構築」に研究員として参加している関係で、生命倫理的内容が多く含まれるでしょうが、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を”楽しんで”もらえたらいいと思います。
成績評価の方法	前期試験(45%)、後期レポート(レポート試験)(55%) 前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定
教科書	久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊(前期試験受験に必須)
参考書等	特になし
その他	初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名
倫理学(5)〔制度とモラル〕	たきぐち 滝口 清 栄

講義のねらい	人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
講義の内容・授業スケジュール	こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。
履修上の留意点	講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。
成績評価の方法	中間テスト(前期の最終授業時)と学年末テストにより成績を評価する。
教科書	久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名

担当者名

倫理学（6）〔東洋倫理〕

すえ き やす ひこ
末 木 恭 彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

人
文
分
野

科目名

担当者名

宗教学（1）〔比較宗教文化〕

池上良正

人文分野

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）
 『エリアーデ著作集』（せりか書房）
 上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）
 脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）
 加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）
 ラーンジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）

科目名	担当者名
宗教学（2）〔聖と俗〕	田中かの子

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながらか、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート（後期中に提出）と学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	担当者名
宗教学（3）〔世界観と儀礼〕	小川順敬

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずですよ。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名

担当者名

宗教学（４）〔日本人の宗教〕

矢野秀武

人文分野

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期に日本宗教史ならびに外国に渡った日本宗教、現代日本に入ってきた外国の宗教などをとりあげる。後半では、現代日本において冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教がどのように変容しているのか、また現代の社会制度において宗教はどのように位置づけられているのかといった点を紹介する。また単なる事実の紹介だけではなく、宗教学（宗教人類学・宗教社会学）的な視点に基づいて解説を加える。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名

担当者名

宗教学（５）〔生活と宗教〕

菅原壽清

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名

宗教学（6）〔民俗宗教の諸相〕

担当者名

あさ かわ やす ひろ
浅 川 泰 宏

人文分野

講義のねらい

宗教学の概念や方法を、現代社会における人々の関係性を読み解くツールとして活用する能力の獲得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

世俗化が進んだ現代の日本社会においては、一般論としての無宗教性と、その背後に依然として蓄えられている豊かな宗教性を両眼的に捉えることが重要となっています。本講義では、民俗宗教という観点から、我々の身近な日常生活に表出される宗教現象に着目します。

前期は、祖先祭祀や祭り、新宗教などをテーマに宗教学・宗教民俗学の基本的な視点や知識を学びます。後期には、ヒトやモノの移動が活発化し、様々な境界が溶け崩れていくなかで、着目が集まっている「巡礼」を中心に、民俗宗教を通して構築される関係性や当事者の意識の変化といった問題を考えます。

なお、講義では、毎回具体的なトピックをあげ、それについての講義と討論を行います。そのため授業中は皆さんの積極的な参加を期待します。

履修上の留意点

- ・講義中の私語は厳禁とします。
- ・受講生の理解度を確認し、講義内容に皆さんの意見を反映させるために、毎回コメントカードへの記入を求めます。御協力を御願ひ致します。

成績評価の方法

- 配点：レポート60点＋平常点40点＝合計100点
- ・平常点は、授業時に配布するコメントカードなどを参考に採点します。
 - ・レポートは、特に理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は講義中に随時指示します。

科目名

宗教学〔比較宗教文化〕

—フレックスB開講—

担当者名

た なか こ
田 中 かの子

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということ、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない・通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をともなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。

成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する夏休みのレポート、後期最終授業日に配布予定のガイダンスにもとづいて準備できる学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

社会学

[現代社会を考える]

[現代文化を考える]

[社会生活を考える]

お 呉 びん さん 三

社会
分
野

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本的行為論

II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、
(5) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：

(1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、

(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、

(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切適切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出だし難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的（Macroscopic）なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。）
 - (2) 誕生に関する要因（出生・墮胎・殺児…）
 - (3) 幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…）
 - (4) 家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…）。
 - (5) 消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…）
 - (6) 会社生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…）
 - (7) 老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題…）などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	担当者名
社会学[現代社会を考える] —フレックスB開講—	お 呉 びよん さん 炳 三

社会
分野

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)社会学の基礎概念：

I 行為論：(1)社会学における行為、(2)行為者としての個人、(3)日本の行為論

II 集団論：(1)集団の概念、(2)官僚制理論、(3)小集団論、(4)集団の類型、

(5)日本の集団論

(後期)現代社会の特徴的な諸相について：

(1)家族集団、(2)恋愛、(3)結婚、(4)若者文化、IT文化、(5)少年犯罪、

(6)ジェンダー、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン、摂食障害、

(9)就職、転職、リストラ、(10)フリーター、ニート、引きこもり、(11)性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名
社会学[現代文化を考える] —フレックスB開講—	はし づめ さん 橋 爪 敏

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基本的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題—文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等—を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)

R. ニスペット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)

その他授業中に適宜指示したい。

科目名**担当者名**

文化人類学〔文化と人間〕

かとうあきほる
加藤 之 晴**講義のねらい**

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そしてフィールドワークと呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくおこないを通して、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに世界・家族・身体・宗教・病いなどのキー・ワードを挙げ、文化人類学ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価するが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とする。

教科書

特定の教科書は用いない。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布し、これに基づいて授業を進行する。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する。

社
会
分
野

科目名**担当者名**

文化人類学〔文化と人間〕

もりまきあみ
森 雅 文**講義のねらい**

文化人類学は、諸社会の比較を通して人類文化の共通性と多様性を解説する学問です。その醍醐味は、秘境や奇習の冒険的把握ではなく、さまざまな人間性の表現への理解を探り、そこで構築したまなざしを自分の身のまわりの事象にも向けてゆく知的冒険にあります。講義は、文化が創り出す『他者』と『自己』のリアリティを把握する基礎的な枠組みの理解と洞察力の養成を目指します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

異文化理解を通じて構築された枠組みを、様々な民族誌事例とともに解説します。前期は社会の連帯・統合に人々の結びつきに関わる議論を、後期は宗教や医療を題材にして人間のあり方と世界観の関わりを焦点にした議論を中心に講述します。予定の詳細は各学期の初回に提示します。

（前期）学史の概観（文化概念・通時／共時的視座）、人の一生と社会化（人生の諸理論・通過儀礼・ジェンダー）、家族・親族の絆（親子・婚姻・出自・祖先祭祀）、互酬性（交換／贈与）、エスニシティ（人種・民族・国家・日本論）

（後期）民俗知識と経験、呪術と社会（妖術・邪術・シャーマニズム）、儀礼と象徴（文化の境界・穢れ・宇宙論・神話・秩序・物語論・場所）、人の存在様式（多重人格・憑依・王権）、医療文化（伝統医療・国民文化・健康・病い・死）

履修上の留意点

受講生のコメントや意見も講義に還元したいので、積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

前期後期の学年末筆記試験が基本にして、授業時の質疑応答やコメントペーパー等の内容を平常点として加味します。

教科書

特定の教科書は指定しません。

参考書等

内容が多岐に渡るので適宜授業時に紹介します。

その他

授業は講義形式。ビデオ等の視聴覚教材も使用します。

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み (1)
 - 3. 文化人類学の歩み (2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

科目名

担当者名

文化人類学(諸民族とコスモロジー)

鈴木 一 馨

社
会
分
野

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間への対応、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：第1部. 文化人類学と民族
 (1～3)「文化」と「文化人類学」 (4～6)「民族」とはなにか
 第2部. 民族とコスモロジー
 (7～8)「コスモロジー」とはなにか (9～10) 天とひとつのコスモロジー
 (11～13) 世界の断絶と連続
- 後期：第3部. 風水のコスモロジー
 (14～20) 風水を構成する宇宙論 (21～22) 風水による現実空間の意味付け
 (23～26) 風水と人間社会

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

- 祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560、1990年) 840円
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店、2002年) 1,470円
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年) 1,995円
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』(講談社選書メチエ244、2002年) 1,575円

科目名	担当者名
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	矢野秀武

講義のねらい	文化人類学とは、世界の民族などの集団を対象に、その文化・社会について、比較しながら特質を理解する学問である。またそれを通じて自分の文化や社会の前提を理解する学問である。本講義では、人間社会の多様な生業形態、コスモロジーなど世界の理解の仕方についての基礎的な考え方を身につけてもらいたい。さらに、多民族社会の様相、日本の民族や日本文化といった考え方の形成と変容についても学んでもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期においては、文化人類学の基本的な考え方を紹介し、狩猟採集民、牧畜民、農耕民など、近代化によって工業化した社会とは異なる生活環境・生業形態における人々の生活や考え方をとりあげる。後期では、グローバル化の進む現代社会の特質を踏まえつつ、民族と文化という基本的な考え方を理解し、文化摩擦、民族の形成、多民族国家、文化の流動化といったテーマで授業を進める。
成績評価の方法	前期と後期それぞれの期末に試験を行なう。試験形式や授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。
教科書	なし。
参考書等	授業時に随時紹介する。

科目名	担当者名
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山明子

講義のねらい	文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外／以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだった。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声が上がるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。 本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。
講義の内容・授業スケジュール	I 文化人類学の基本的な考え方（文明と未開、人類の分類と序列、フィールドワークと民族誌） II 親族、家族、ジェンダー III 生態、環境、開発と保護 IV 個人、救済、儀礼、宗教 V 多様性と普遍性、国民国家、少数民族問題
成績評価の方法	学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。また、授業に関する質問や授業中に紹介する本などを自主的に読みレポートを随時提出するなど積極的な態度に対しては高く評価します。
教科書	教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。
その他	プリント配布も行いますが、板書が中心となります。各自工夫してノートを作ってください。

科 目 名	担 当 者 名
文化人類学〔社会変化と価値観〕	小 川 順 敬 <small>お がわ とし けい</small>

講義のねらい	文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。 人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思います。
成績評価の方法	評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書	祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）
参考書等	講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名
文化人類学〔文化と人間〕 —フレックスB開講—	川 上 新 二 <small>かわ かみ しん じ</small>

講義のねらい	文化人類学は、世界各地の人々がつまざまな文化の考察を通じて、人間とは何かを考える学問です。ここでいう文化とは私たちが伝統的に受け継いできた生活習慣をいいますが、生活習慣は各地域や民族で異なります。自分たちの生活習慣が標準的なものであり、それと異なるものは「異常なもの」「変なもの」としてと見てしまうと、私たちを含む人間というものを総合的にとらえることができなくなってしまいます。この講義では、世界のさまざまな文化を客観的に見る視座を養うことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文化人類学の概要について紹介します。①文化人類学の立場と内容、②文化とは何か、③文化の性質、④異文化と自文化などについて講義します。 後期は、文化の理解の具体例として、日本、韓国・朝鮮、中国の諸文化をとりあげて考察します。特に①婚姻、②家族、③親族などをとりあげ、各文化の共通性と特殊性について考察します。
履修上の留意点	やむを得ない事情で欠席する（欠席した）場合は、欠席届（形式は任意）を提出してください。
成績評価の方法	年度末試験、小レポート、出席状況などを総合して評価します。
教科書	教科書は用いません。

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み (1)
 - 3. 文化人類学の歩み (2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教 科 書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

科目名	担当者名
法学・憲法〔法と社会生活〕	はいとくひろとう 鶏徳啓登

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

- (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
- (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
- (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
- (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
- (6) 各種基本的人権の内容
- (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
- (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

講義のねらい

法学は難しい学問であるけれども（なぜなら法律用語というのは一見難解であるから）、決して堅苦しいものではありません。なぜなら、社会で起きている問題をどのように評価するかという手段の一つに過ぎないからです。つまり法学的アプローチを身につけるには、社会を見る適切な「目」を育てること、「教養」をたくさん身につけることが必要です。この講義では、抽象的で難解な法律用語の解説に終始するのではなく、社会を見渡せる「リアリティ」を大切にしてゆこうと考えています。したがって、公務員受験などに役立たせようと考えているみなさんには物足りないと感じられるかもしれませんが、物事を「考える」ことに重点をおいているみなさんには、いい刺激となるようなものを目指しています。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
2. 法における自由・平等
- 3～4. 憲法の役割
- 5～6. 新しい人権
- 7～8. 契約の自由とその規制
- 9～10. 診療契約と自己決定
- 11～12. 消費者の保護

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 司法制度改革と裁判員制度
- 17～18. 人の生・死と法
19. 企業と法
20. 労働と法
21. 社会保障と法

などを予定しています。

下記の他にも参照してください。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたきたいと考えています。

成績評価の方法

主として、学年末試験（筆記）のみで評価します。出席はとりませんが、出席している方が成績評価の上で有利になるような配慮はしたいと考えています。

その他、夏季に任意提出のレポート課題を出します。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします（昨年度は、法廷サスペンスものの映画を観てもらいました。）。

詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストとしては、森泉卓『法学（第3版）』（2003年有斐閣・2,500円）を指定しますが、それとは別に、講義の中ではプリントを配布します。どちらかといえば、配布プリントを重視しますので、テキストを購入する際には、十分に吟味して決めてください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

前記のスケジュールは、あくまでも予定です。履修者数や教室の状況等をみながら、適宜内容の変更を行います。例えば、履修者が80人以下であれば、後期のいずれかの日に模擬裁判を実施したいと考えています。いずれにしても、第1回の講義で大学発行のシラバスにかわる独自のシラバスを発行します。それを参考にしながら、最終的な履修を考えてください。

また、講義に連動して、サポート・サイトを運用します。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕

はせがわ ひでよ
長谷川 日出世

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

社
会
分
野

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などに関連させたい。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとする。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

- 小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
 - 六法（例として、『ポケット六法（平成18年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）
- ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修『トビックスくらしの法』（芦書房）
その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
2. 法における自由・平等
- 3～4. 憲法の役割
- 5～6. 新しい人権
- 7～8. 契約の自由とその規制
- 9～10. 診療契約と自己決定
- 11～12. 消費者の保護

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
 - 15～16. 司法制度改革と裁判員制度
 - 17～18. 人の生・死と法
 19. 企業と法
 20. 労働と法
 21. 社会保障と法
- などを予定しています。
下記のその他も参照してください。

履修上の留意点

留意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

主として、学年末試験（筆記）のみで評価します。出席はとりませんが、出席している方が成績評価の上で有利になるような配慮はしたいと考えています。その他、夏季に任意提出のレポート課題を出します。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします（昨年度は、法廷サスペンスものの映画を観てもらいました）。詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストとしては、森泉章『法学（第3版）』（2003年有斐閣・2,500円）を指定しますが、それとは別に、講義の中ではプリントを配布します。どちらかといえば、配布プリントを重視しますので、テキストを購入する際には、十分に吟味して決めてください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

前記のスケジュールは、あくまでも予定です。履修者数や教室の状況等をみながら、適宜内容の変更を行います。例えば、履修者が80人以下であれば、後期のいずれかの日に模擬裁判を実施したいと考えています。いずれにしても、第1回の講義で大学発行のシラバスにかわる独自のシラバスを発行します。それを参考にしながら、最終的な履修を考えてください。

また、講義に連動して、サポート・サイトを運用します。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と国家〕

おだてる
織田晃子

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

『判例法学』（有斐閣ブックス）、『コンパクト六法』（岩波）

その他

プリント配布

社会
分野

講義のねらい

現代社会においてわれわれの営みは、いつの間にか複雑化した法制度と関係をもちながら生活をしているがその基軸をなしているのが憲法である。憲法は人間のための法であるということから人権を中心に憲法の理念と実態を考えようと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 憲法の系譜
 - 一 憲法の概念—憲法の法としての特質—
 - 二 憲法の歴史
 - 三 明治憲法から日本国憲法へ
 - 四 日本国憲法の特徴
- II 憲法の構造
 - 五 人権と憲法
 - 六 人権の種類 (1) 自由権・受益権・参政権
 - 七 人権の種類 (2) 法の下での平等
 - 八 人権規定の効力 (1) 人権規定の私人間への適用
 - 九 人権規定の効力 (2) 社会権のプログラムの性格
 - 十 人権と政治機構 (1) 国民権と象徴天皇制
 - 十一 人権と政治機構 (2) 国民代表としての議会
 - 十二 人権と政治機構 (3) 代表制と直接民主制
 - 十三 人権と政治機構 (4) 議院内閣制
 - 十四 人権と政治機構 (5) 財政の民主化
 - 十五 人権と政治機構 (6) 地方政治の確立
 - 十六 人権と政治機構 (7) 国際政治と国際法
 - 十七 人権と政治機構 (8) 国際政治と人権
 - 十八 人権と裁判 (1) 適法手続
 - 十九 人権と裁判 (2) 裁判制度
 - 二十 人権と裁判 (3) 司法権の独立
 - 二一 人権と裁判 (4) 違憲審査制
 - 二二 人権と裁判 (5) 違憲審査の限界
- III 憲法の実態
 - 二三 思想と人権 (1)
 - 二四 思想と人権 (2)
 - 二五 思想と人権 (3)
 - 二六 思想と人権 (4)
 - 二七 宗教と人権
 - 二八 刑事手続と人権 (1) 捜査過程における人権の尊重
 - 二九 刑事手続と人権 (2) 自白の証拠能力
 - 三〇 刑事手続と人権 (3) 刑事手続と行政手続
 - 三一 生存と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と国家〕

新田 浩司

社会分野

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実に発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回目 ガイダンス
- 第2回目 法学の基礎知識①
- 第3回目 法学の基礎知識②
- 第4回目 法学の基礎知識③
- 第5回目 憲法の基礎知識
- 第6回目 日本国憲法の制定過程
- 第7回目 日本国憲法の基本原理
- 第8回目 国家の安全保障（戦争放棄）
- 第9回目 精神的自由権①
- 第10回目 精神的自由権②
- 第11回目 経済的自由権
- 第12回目 社会権
- 第13回目 参政権、国家請求権
- 第14回目 統治機構①
- 第15回目 統治機構②

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

4・5月

- 法とは何か
- 法の種類
- 法源
- 法の生成（日本法の歴史）
- 法と裁判の基礎知識
- 国家の基礎知識

6・7月

- 民法と商法の考え方
- 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

9・10月

- 憲法とその原理について
- 基本的人権の保障

11・12月

- 統治機構について
- 年間のまとめと「家」制度について

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

その他

授業の方法は講義です。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕

いけ だ める
池 田 実

社
会
分
野

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。

〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈法学〉 (1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
- 〈憲法〉 (1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）
上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程：8月1日～8月8日（土、日除く）、1～5時限

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕
—フレックスB開講—

はい とく ひろ とう
鶏 徳 啓 登

社会分野

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕
—フレックスB開講—

はせがわ ひでよ
長谷川 日出世

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名

担当者名

経済学〔現代社会と市場経済〕

はた なか たかし
島 中 貴

社会分野

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールは以下の通り。

（前期）（1）ガイダンス（2）経済主体と市場（3・4）需要曲線、供給曲線（5・6）価格および取引数量の変化（7・8）家計の経済活動（9・10）企業の経済活動（11・12）厚生経済学の基本定理と市場の失敗（13）前期末試験

（後期）（14）独占（15）情報の不完全性（16）GDPの3面等価（17）産出量の変動、物価水準の変動（18・19）完全雇用の状態におけるマクロモデル（20・21）不完全雇用の状態におけるマクロモデル（22・23）財政政策、金融政策（24・25）国際貿易（26）経済成長

履修上の留意点

講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するためにはそれなりの労力と時間を必要とする。期末の試験までに教科書を何度も読み返し、分からない部分については積極的に質問をすること。世界一頭のいい人であっても、教科書を一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

第1回目の授業で指示をする。

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

- （1）はじめに （2）社会と経済 （3, 4）商品・貨幣 （5, 6, 7, 8）資本と剰余価値
- （9）賃金 （10, 11）資本の蓄積 （12）利潤と利潤率 （13）利子生み資本と株式資本
- （14, 15）独占資本、国家、外国貿易 （16）世界市場と帝国主義日本経済の基本構造を学ぶ
- （17, 18）戦前の日本と戦後日本経済の出発 （19, 20）現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 （21, 22）企業社会の形成と日本的働き方の確立 （23）低成長期以降の企業社会の肥大化 （24）企業社会と女性 （25, 26）経済大国日本とバブル経済
- （27, 28）長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名	担当者名
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	佐藤綾野

講義のねらい	本講義では、基礎的な経済理論をできる限り平易に解説し、また社会的に関心の高いトピックを多く取り上げ経済学の重要性を解説します。また学生の皆さんにも積極的に授業に参加してもらうことを希望します。
講義の内容・授業スケジュール	本講義は、「社会人の教養」として、あるいは「本格的な経済学へ向かう導入部分」となるよう、経済学全般にわたって解説します。 講義を進めるにあたり、経済学のなかの基本的なテクニカルタームの解説からはじめ、ニュースや新聞などで報道されているような具体的な経済現象を「経済学的視点」から考えていきます。 講義終了後には、学生の皆さんが現代経済事象に関心を持ち、自ら学ぶインセンティブをつけてもらうことを目標としています。 最後に、経済学は学生の皆さんの日常生活においても、とても役に立つ学問です。頑張っ習得してください。
成績評価の方法	平常点・レポート・試験を中心に評価します。
教科書	第一回目の講義で指定します。
参考書等	講義のなかで適宜指示します。

科目名	担当者名
経済学〔現代経済と人間〕 —フレックスB開講—	沼田郷

講義のねらい	現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。
講義の内容・授業スケジュール	・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODAとは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業 さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。
履修上の留意点	現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日のな問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。
成績評価の方法	成績は平常評価で行います。学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、講義終了時に小論を書いてもらい、それを評価します。また、レポートの作成を求めます（年間で1、2回）。
教科書	本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考資料に関しては講義の中で随時お知らせいたします。
その他	授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

講義のねらい

放射線の科学・技術は数学ぬきでは考えられない。精密な画像解析も、数学的手法を使えば可能になる。本講義では、ターゲットを「放射線学に応用されている数学の世界」にターゲットを絞って学ぶ。内容は、応用数学（後期）とリンクする。

講義の内容・授業スケジュール

高校の時、数学Ⅲと数学Cを履修していなかった人にも理解出来る様な内容を中心に講義を行います。

1. 三角関数、行列、ベクトル等、数学Cの内容を中心に
 - ・加法定理、和積・積和の公式等重要な公式の求め方と証明
 - ・三角方程式や三角関数の合成 その他
2. 微分
 - ・微分係数、導関数の定義、
 - ・有理関数、合成関数、三角関数、指数関数
 - ・対数関数の微分
 - ・媒介変数と微分
 - ・高次導関数
 - ・連続関数と不連続関数
 - ・テイラーの定理と、テイラー展開 その他
3. 積分
 - ・不定積分と定積分
 - ・部分積分と置換積分
 - ・体積と面積

成績評価の方法

試験（各単元毎に数回／年、それ以外の本試験は1回／年）、レポート

教科書

矢野健太郎、石原繁『基礎数学入門』（裳華房）
大竹真一著『基礎固め数学』（化学同人）

参考書等

和達三樹『微分積分』（岩波書店）
数学Ⅲと数学Cの教科書
松下祐輔、遠藤輝紀著『技術者のための数学入門』（コロナ社）

科目名

担当者名

基礎物理学

佐藤 昌憲・北沢日出男

講義のねらい

われわれを取り巻く自然環境の中で、いろいろな物体の運動や波動現象、熱現象、および電磁気現象に遭遇する。本講義では、これらの現象が物理学の基礎理論によってどのように理解されるかを学び、日々の生活の中で科学的にものを考える習慣を身につけることに重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 物体の運動とエネルギー
(速度、加速度、運動量、力、物体の運動、仕事、運動のエネルギー、保存量)
- (2) 温度と熱
(熱の正体、温度、圧力、物質の集合状態、仕事と熱量、熱の伝導、熱的過程)
- (3) 波動
(波のいろいろ、波の伝播、音波と光波の性質)
- (4) 電磁気学
電界(真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力) 磁界(静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)
- (5) 電磁波
(自由空間における電磁波)

履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。基礎物理学 A では、力学、波動性および熱力学を、基礎物理学 B では、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に気づいた思考過程を身につけてほしい。

成績評価の方法

基礎物理学 A・B の出席数、小テスト、定期試験により評価する。

教科書

基礎物理学 B:『電気基礎上』(東京電機大学)

自然分野

科目名

担当者名

基礎化学

原 田 和 正

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1. 原子・分子・モル
- 2. 電子配置と周期表
- 3. 化学結合
- 4. 化学平衡
- 5. 酸・塩基、酸化・還元
- 6. 溶解度と溶解度積
- 7. 気体の状態方程式
- 8. 反応速度論
- 9. 化学熱力学

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

- A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に』(東京化学同人) 2,850円
- A. Sherman 他著、石倉洋子・石倉久之訳、『化学 基本の考え方を中心に-問題と解答-』(東京化学同人) 1,700円

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わったといえる。そこで、本講義では生物の進化（縦糸）と遺伝子（横糸）を二つのキーワードにして、現代生物学（生命科学）の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1章 生体を作る物質－炭素の恵み

- (1) 生元素
- (2) 有機物
- (3) 水
- (4) 生体高分子

第2章 遺伝子－情報を担う分子

- (1) 遺伝子の正体
- (2) タンパク質合成
- (3) 遺伝子とゲノム
- (4) 突然変異と進化

第3章 生命活動－化学反応の総和

- (1) 生命活動の見取り図
- (2) 酵素とATP
- (3) 発酵と呼吸
- (4) 光合成

第4章 細胞－生命の基本単位

- (1) 細胞の発見
- (2) 細胞小器官
- (3) 生体膜
- (4) 共生説

第5章 生命の起源－物質から生命へ

- (1) 自然発生説の否定
- (2) 化学進化
- (3) 生命の起源仮説
- (4) 初期の生命

第6章 発生－身体の作り方

- (1) 発生と遺伝子
- (2) 細胞系譜
- (3) クローンとES細胞
- (4) 個体発生と系統発生
- (5) ヒトの発育段階

第7章 神経と脳－身体の指令塔

- (1) ホルモンと神経
- (2) 情報伝達のしくみ
- (3) 脳の構造と働き
- (4) 神経ホルモンと心

第8章 免疫－自他の認識

- (1) 免疫と遺伝子
- (2) 免疫のネットワーク
- (3) 血液と血液型

第9章性と生殖－遺伝子のシャッフル

- (1) 遺伝子と染色体
- (2) 二つの細胞分裂
- (3) 性の決定様式

第10章遺伝－親子の絆

- (1) メンデルの法則
- (2) 遺伝病
- (3) 集団遺伝学の基礎

第11章人体－内なる自然

- (1) 細胞・組織・器官
- (2) 骨格系と筋肉系
- (3) 循環器系と呼吸器系
- (4) 消化器系と泌尿器系
- (5) ホメオスタシス

なお、半期科目なので、実際の講義では、上記内容の主要部分をピックアップして解説する。

出席点と試験の点数を合算して評価する。

成績評価の方法

教科書

講義の内容を文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

web版教科書で章ごとに紹介する。

その他

講義中に章ごとに必要な図表をまとめた補助教材のプリントを配布する。

科目名	担当者名
情報処理技術	近藤啓介

講義のねらい

情報化社会において、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要である。医療現場においても情報化が進みコンピュータの操作技術は必要不可欠なものとなっている。この授業では、コンピュータの基本的操作とインターネットの利用方法から、将来の卒業論文を書くにあたって必要な文章作成・編集・数式作成、表計算やグラフ作成、卒業論文発表会で利用するプレゼンテーションソフトが使えるように演習形式で授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータとは（ハードウェアとソフトウェア）
 オペレーティングシステムとは
 情報倫理
 インターネットと電子メールの利用
 MS-Word による文書作成・編集・数式作成・図の作成
 MS-Excel による表計算・関数の利用・グラフの作成
 MS-PowerPoint によるプレゼンテーション

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況・演習成績・レポート提出によって評価する。

教科書

入沢寿美・田中伸英・高林茂樹・高橋裕著、『インターネット時代の新情報活用』（サンウェイ出版）1,800円

自然分野

科目名	担当者名
物理学序論	佐藤昌憲・北沢日出男

講義のねらい

高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。基礎物理学で必要となる物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 力と運動
速度、加速度、運動の法則、エネルギー
2. 波動
波の性質、音波と光波、反射と屈折
3. 電気
電圧と電位、コンデンサ、電流と抵抗、オームの法則
4. 磁気
電流と磁場、電磁誘導、コイル

履修上の留意点

高校で履修しなかった学生を対象としますから、4月と5月の2ヶ月間での集中授業である。物理学序論Aでは、力と波動を、物理学序論Bは、電気と磁気を中心に焦点をしばり平易に解説する。物理における最低限の知識の修得と苦手意識を克服してほしい。

成績評価の方法

物理学序論A・Bの小テスト、定期試験により評価する。

科目名

担当者名

化学序論

やまもと ゆうすけ
山本裕右

講義のねらい

高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「基礎化学」、「放射線写真学」および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容について演習を行いながら進める。

1. 物質とは
2. 元素と単体、化合物
3. 原子、分子、イオン
4. 電子配置
5. 化合物の名前
6. 化学反応式、化学量論
7. 物質の量
8. 濃度の計算

自然分野

履修上の留意点

高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学はここにはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

成績評価の方法

平常の小テスト、定期試験で評価する。

教科書

- ・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に—』（東京化学同人）2,993円
- ・ A.Sherman 他著、石倉洋子 他訳、『化学—基本の考え方を中心に— 問題と解答』（東京化学同人）1,785円

参考書等

- ・ 乾 他著、『改訂 化学—物質の構造、性質および反応—』（化学同人）2,520円
- ・ R.J.Ouellette 著（岩本他訳）『化学その基礎へのアプローチ』（東京化学同人）2,520円
- ・ P.W.Atkins 他著（千原他訳）『物理化学の基礎』（東京化学同人）3,570円

科目名

担当者名

科学基礎論

うじ いえ ちり みち
氏 家 盛 通

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1、21世紀を迎えて放射線診療の未来（IT革命が医療現場をどう変えていくのか？）
- 2、医療被曝を考える（JCOの事故が及ぼした医療界への影響は？）
- 3、企業に活躍の場を求める診療放射線技師（東芝メディカル、日本メジフィジックス、タイコ・ヘルスケア・ジャパン、GE横河メディカルシステム、シーメンス旭メデイトック）
- 4、スーパーテクノロジスト（放射線治療認定技師と医学物理士、マンモグラフィ検診制度中央委員会認定技師、X線CT検診専門技師など）について
- 5、日本放射線技術学会法人化30周年を迎えてより、30年間での診療放射線技術学の変化
これらの資料を読みその中に出てくる、放射線の種類や単位または人・団体・施設・機器・医療や診療放射線業務に関して講述する。

履修上の留意点

講義の内容などで分からないことがあれば気楽に質問をして、診療放射線技術学に親しみを持てるようになること。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

自然分野

科目名

担当者名

科学基礎論

くま さか
熊 坂 さつき

講義のねらい

放射線技術者になるために、第1歩をふみ出した人達に、これからの指針の1つの手がかりになるような学習を行う。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・スライドやビデオを用いて医療現場と医者、スタッフの役割について学ぶ。
- ・スライドやビデオを用いて、研究者とは何かについて学ぶ。
- ・X線写真を用いて、それをトレースし、X線解剖学について学ぶ。

履修上の留意点

小テストなど授業時間内の学習状況により評価する。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない
プリントを配布する

科目名

担当者名

科学基礎論

こん どう けい すげ
近 藤 啓 介

講義のねらい

新入生諸君の多くは受身による知識を蓄積する学習をしてきた。大学においても、より高度な知識を習得することは重要である。将来医療人としての道を進むことになるが、単に言われた仕事を淡々とこなすだけの人間ではなく、医療チームの一員として積極的に取り組むための知識と論理的な考察力を養ってほしい。

この授業では、未知なる現象や問題を提示しながら、今までの知識を駆使して、課題に取り組み、創造力を発揮して問題を解決してもらおう。単なる結果だけでなく結果を導く過程である「論理的な考え方」を中心に学習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テーマを与え、それに関する自分の考えをまとめ、発表・討論を行う。

履修上の留意点

テーマには答えが複数あるものや、答えのないものもある。結果が「正しい」・「間違っている」という結果が重要なのではなく、結果を導くための過程を大事にして、何故その結果に至ったのか自分なりの考え方をまとめ討論すること。

成績評価の方法

レポートや討論の参加状況により評価する。

教科書

プリントを配布する。

自然分野

科目名

担当者名

科学基礎論

さ とう まさ のり
佐 藤 昌 憲

講義のねらい

学生諸君が今後の学習や学問の研究、進路、自己形成のために役に立つテーマを提供しようというのが基本的なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

少人数のゼミ方式で、テーマの参考文献や資料の集め方、分析の仕方、論理的な考え方パソコンの使い方などを具体的に教え、学生自身が理工学の専門分野をどの様に学んでいくか、そのプロセスを学習する。

具体的には、レポート作成と討論を行う。その際に

1. 分類方法、2. 過程の表現方法、3. 対比・比較の仕方、4. 原因・影響の関係について、5. 主題の相互作用の書き方等を体系的に学習する。

履修上の留意点

問題意識とやる気のある学生を望む。

成績評価の方法

学習状況とレポートと出席などにより評価する。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名
科学基礎論	山本裕右 <small>やまもと ゆうすけ</small>

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。また、パソコンを使っての数値計算も随所で行う。

1. 原子とは
2. 原子の中の電子
3. 安定同位体と放射性同位体
4. 放射能とは
5. 放射線とは
6. エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはつきり見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する。

参考書等

授業時間中に紹介する。

自然分野

科目名	担当者名
科学基礎論	吉川宏起 <small>よしかわ こうき</small>

講義のねらい

1. 科学的思考の基礎を身につける。2. 生活習慣病を中心としたヒトの疾病（疾患）の原因とその治療法を通じてエビデンスに基づいた医療の成り立ちを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 科学論文の引用の仕方、読み方、書き方の基礎的事項について概説する。2. 糖尿病や虚血性心疾患、脳血管障害などの生活習慣病の成り立ちとその予防法や治療法を通じて、医療におけるエビデンスの重要性について概説する。

履修上の留意点

科学論文の重要性と医療におけるエビデンスを導く臨床研究法を理解する。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. An exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名

担当者名

総合Ⅲ（２）〔欧米の教育と日本の教育〕

岡崎 寿一郎

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名

担当者名

総合Ⅲ（３）〔ドイツの森林〕

野島 利彰

総合分野

講義のねらい

私たちはドイツ語の Wald（ヴァルト）を「森」と訳している。樹木が多数ある場所としてはその訳で間違っていない。しかしそれらの語からイメージされるものはまったく異なっている。自然の違いが樹種の違いを生み、樹種の違いがその利用の違い、さらに生活の違いを生む。この講義ではドイツの森でどのように利用され、そこでどのような生活が行なわれているかを話します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツの森林とその樹種およびその利用について講義し、後期は森林を舞台に行なわれる狩猟について講義します。

履修上の留意点

講義でいろいろな樹木の名が出ます。日本の樹木あるいは動植物の名を知っていることが授業の理解に役立つでしょう。通学路や公園で図鑑を手にして名を調べましょう。また新聞や雑誌で植物や動物関係の記事、あるいは環境問題の記事があつたら必ず目を通し、切り抜き、ファイルを作ってください。普段から動植物や環境問題に興味を持つことが大切です。

成績評価の方法

樹木の葉とそのスケッチの提出および日本の森林利用や環境問題に関するレポートで成績を評価します。

教科書

授業で内容に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義に直接関係する参考書は
K・ハーゼル著、山縣光品訳「森が語るドイツの歴史」（築地書館）4, 223円

その他

森林理解の第一歩として日本の植物図鑑があります。現在、多種多様な図鑑が出版されています。手に取り気に入ったものを是非一冊購入して下さい。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（１）〔現代アメリカ事情〕	ばやし 明人 林 明人

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（２）〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市の自治体とNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。
 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について：日本との比較
 神戸市の事例
 後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO
 日本における移民政策とNPO 神奈川県下のNPO, MIC かながわとすまいサポートセンターの事例研究

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

その他

ゲストレクチャーとして後期に世田谷区まちづくりセンター所長、およびMICかながわ所属医療通訳者を2回程度予定している。この授業と2002年制作ビデオをもとにe-learningの教材制作を予定している。

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の合理性批判とその主体性の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は、建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。欧米では依然としてポストモダンを問題としており、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）することあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（他者の他者）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、日常生における主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、時事的な問題を取り上げ、また事前にテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読む課題もあります。講義の骨子は以下の通りです。講義と課題が有機的にリンクするように指示していきます。

- 1) 総合Ⅳ（人文・社会・自然）の性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックス
- 3) 「モダン」と「ポストモダン」の定義
- 4) ルネッサンス以後の人間観、宇宙観、社会観の変化
- 5) ソシュールの言語観（言語の恣意性、ラングとパロール）と、テキストの遍在性とディスコースの効用
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の差異：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など
- 7) 西洋における理性批判の整理
 - ・モダン：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス
 - ・ポストモダンの批判的源泉としてのニーチェの思想、ハイデガー、フランクフルト学派、
- 8) マックス・ヴェーバーの合理性と非合理性理の問題（ポストモダンに向けて）
- 9) ミッシェル・フーコーによるモダン批判：外部の力と内部の力
- 10) アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判
- 11) レビュー：ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

総合分野

3. 外 国 語 科 目

外国語科目

3. 外国語科目

《必修・選択必修科目》

〔英 語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	放1必	通年	2	狩野晃一	81
英語ⅠA	放1必	通年	2	桧山晋	81
英語ⅠB	放1必	通年	2	狩野晃一	82
英語ⅠB	放1必	通年	2	桧山晋	82
英語ⅡA	放2必	通年	2	西田義和	83
英語ⅡA	放2必	通年	2	吉川直澄	83

《再履修クラス》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	岩井洋美	84
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	岩原康夫	84
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	太田由紀子	84
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	川崎笑佳	85
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	萩原輝	85
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	埴美智子	85
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	桧山晋	86
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	牧野輝良	86
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	松堂啓子	86
英語ⅠA〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	丸小哲雄	87
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	飯沼好永	87
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	江田幸子	88
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	澤田真弓	88
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	相馬美明	88
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	高見陽子	89
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	高柳文江	89
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	西村祐子	90
英語ⅠB〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	大淵利春	90
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	太田美智子	91
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	岡崎寿一郎	91
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	佐藤江里子	91
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	澤田真弓	92
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	菅原典子	92
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	外池一子	92
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	矢島直子	93
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	山岸二郎	93
英語ⅡA〔再クラス〕	放3・4年	通年	2	吉江正雄	93

《選 択 科 目》

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語 I A (選)	放 1・2・3・4 選	通年	2	藪下紘一	94
ドイツ語 I B (選)	放 1・2・3・4 選	通年	2	野島利彰	94
英会話 I	放 1・2・3・4 選	通年	2	ウェルズ, J. K.	95
英会話 I	放 1・2・3・4 選	通年	2	ササキ, M.	96
英会話 I	放 1・2・3・4 選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	97
英会話 I	放 1・2・3・4 選	通年	2	ピアス, D. M.	98
英会話 I	放 1・2・3・4 選	通年	2	ラッセル, S. J.	99
英会話 I	放 1・2・3・4 選	通年	2	レーン, C. M.	99
英会話 I	放 1・2・3・4 選	通年	2	ロビン, G. F.	100
英会話 II	放 2・3・4 選	通年	2	ササキ, M.	101
英会話 II	放 2・3・4 選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	102
英会話 II	放 2・3・4 選	通年	2	ラッセル, S. J.	103
英語 L L I	放 1・2・3・4 選	通年	2	太田雅子	104
英語 L L I	放 1・2・3・4 選	通年	2	甲斐捷子	104
英語 L L I	放 1・2・3・4 選	通年	2	加藤佐和子	105
英語 L L I	放 1・2・3・4 選	通年	2	久保ひさ子	105
英語 L L I	放 1・2・3・4 選	通年	2	西村祐子	105
英語 L L I	放 1・2・3・4 選	通年	2	塙美智子	106
英語 L L II	放 2・3・4 選	通年	2	太田雅子	107
英語 L L II	放 2・3・4 選	通年	2	外池一子	107
英語 L L II	放 2・3・4 選	通年	2	西村祐子	108

《必修・選択必修科目》

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達（Writing and/or Speaking）：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	担当者名
英語 I A	狩野晃一

講義のねらい	英語での意志疎通に必要な最低限度の聴く、話すという能力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	前期は語彙力の増強・定着につとめる。後期ではそれを応用して上記目標を達成する。
履修上の留意点	必ず予習をすること。辞書必携。
成績評価の方法	3分の2以上の出席が評価の対象。期末に行う試験の結果、及び授業中の発言・発表等を加味し、総合的に判断する。
教科書	教場にて指示する。

科目名	担当者名
英語 I A	ひやま 晋

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。 『他の授業や実験で忙しい』は言い訳にならない。必ず予習の上出席すること。
教科書	第一回目の授業で指示。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	狩 野 晃 一
講義のねらい	エッセイや簡単な評論等を精読し基礎的な英語力の定着・向上をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	前期簡単な読み物から始めて、後期では高度な文章に挑戦する。また前期と後期の最後に試験を行う。
履修上の留意点	予習をすること。辞書を必ず自参すること。
成績評価の方法	3 分の 2 以上の出席が評価の対象。前後期に行う試験の結果、及び発言・発表等を含めた普段点を加味し総合的に判断する。
教 科 書	教場にて指定する。
参 考 書 等	必要によってプリント等を配布する。

外国語科目

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	梶 山 晋
講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。『他の授業や実験で忙しい』は言い訳にならない。必ず予習の上出席すること。
教 科 書	第一回日の授業で指示。

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II A	にし だ よし かず 西 田 義 和

講義のねらい

英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

履修上の留意点

予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教 科 書

現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II A	きつ かわ なお ずみ 吉 川 直 澄

講義のねらい

英語 I A を基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、日から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属の CD は聞くだけではなく、声を出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教 科 書

『しゃべりたい人の英語の教科書入門編』(ジオス) 1,900円 ISBN4-86109-001-6

《再履修クラス》

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ 井 ひろ み 岩 井 洋 美

講義のねらい

自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストやプリントを用いて口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行い、基本的な表現を習得しながら単語力をつけ文法を確認します。復習テストを度々行う予定。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。授業態度も重視します。追試験や課題は行いません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点と前・後期試験、不定期のテストで評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2,000円 ISBN 4-255-15280-2

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	おお た ゆ き こ 太 田 由 紀 子

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction)
UK £9.99 ISBN: 0141011475

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	川崎笑佳

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。

履修上の留意点

毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書

『Enjoy Writing for Everyday Use』（北星堂）1,600円 ISBN4-590-01179-4

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	萩原輝

講義のねらい

英語による意志伝達能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、その内容についての意見を英語で表現してもらう予定。

履修上の留意点

辞書を持参して欲しい。

成績評価の方法

授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。

教科書

J. グレイ・高橋・他著 World Companies 『世界のリーディングカンパニー』（弓プレス）ISBN4-8034-1228-6 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	埜美智子

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Appreciating European Culture'—生まれ変わるヨーロッパ—』（成美堂）1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	ひ やま すけむ 松 山 晋

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)基礎を固める。(後期)応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

出席が最重要。小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まき の てる よし 牧 野 輝 良

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本&Sanada 著『基本英語表現』(成美堂)1,600円
ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まつ どう ひろ こ 松 堂 啓 子

講義のねらい

リスニングを含む演習を通して、基礎力を補強する。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、リスニング、文法読解を総合的に学習する。音声教材の利用で日常使われる頻度の高い表現を身につけ、文法、語法の学習で文章構成力を高める。様々な文章、文体に意識的に触れ、英語の表現に慣れるようにする。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

小試験・期末試験等を総合的に評価します。

教科書

『Power-Up English 〈Basic〉』(南雲堂)ISBN4-523-17449-0

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	丸小哲雄

講義のねらい

広告の読みと理論。広告なくして、資本主義は生き延びることはできない。商品に夢を与え、不快なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き替えに広告は、世界に起こっているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なものを覆い隠します。広告は人々の欲望を管理しているので、消費者として解放される必要性から喪失した主体性の復権のための広告論を扱います。

講義の内容・授業スケジュール

英文法は総合理解として、リーディングによって読込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

Decoding Advertisements (英宝社)
A Complete College English Program Book 3 (金星堂)
 ISBN4-7646-3813-9

参考書等

随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	飯沼好永

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%)

教科書

Leading Companies in the 21st Century 「21世紀の企業—成功の舞台裏」(松柏社) 1,900円
 ISBN4-88198-566-3

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	江田幸子

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

『Base Line』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17503-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	澤田真弓

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

杉本豊久、孝子共著『In-Depth Reading バラグラフの読みと深化』（南雲堂）1,900円 ISBN4-523-17457-1

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	相馬美明

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst『American Communication Patterns』（金星堂）1,200円
Mitsuho Sugawara『10-Minute Listening (Introductory)』（桐原書店）780円

科目名	担当者名
英語 I B [再クラス]	高見陽子

講義のねらい	英文を読む速度をあげ、より多くの情報を短時間に得る力を伸ばすことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。
履修上の留意点	必ず辞書を持参し、各自のレベルに応じて予習すること。授業では内容を確認するための精読も行いますので、復習は全員必ずすること。
成績評価の方法	前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を勘案し、総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。
教科書	土屋武久、Robert Hickling、本多吉彦、 <i>A Complete College English Program</i> 【大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編 (Book 3)】(金星堂) 1,900円 ISBN4-7647-3813-9

科目名	担当者名
英語 I B [再クラス]	高柳文江

講義のねらい	英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業ではReadingだけでなくListeningにも重点がおかれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。
履修上の留意点	授業の性質上、予習が必ず必要です。単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。
成績評価の方法	試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、小テスト、提出物、授業への取り組み)40%。
教科書	『 <i>Looking at America</i> 』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082
参考書等	テープ、ビデオ教材使用

科目名

担当者名

英語 I B〔再クラス〕

にしむら ゆうこ
西村 祐子

講義のねらい

英語の読み書きだけでなく聞き、話すことに中心をおいたクラス。CDROM を中心に聞き取り方をアップさせ、さらにフラッシュカードを多用して授業で学習した英語の基礎構文を暗記してゆくことで作文力をつける。口頭練習を奨励することで話す力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：教科書 UNIT 1 - 11まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験。
(各ユニットごと)

後期：UNIT12-22まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験 (各ユニットごと)

履修上の留意点

出席重視だが、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。授業中の口頭発表や聞き取り試験を受けない場合は点数がつかない。

成績評価の方法

口頭練習の後の発表、聞き取り試験などを平常点として重視する。出席点を3分の1とし、残りの3分の2は発表と聞き取り試験で採点する。

教科書

Essential Listening 3 (Macmilan)

科目名

担当者名

英語 I B〔再クラス〕

おお ぶち とし はる
大 淵 利 春

講義のねらい

英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。

講義の内容・
授業スケジュール

やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題—単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。

履修上の留意点

授業は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	太田美智子

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	『Access To The Future』(南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	岡崎寿一郎

講義のねらい	子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。
履修上の留意点	テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。
成績評価の方法	平常評価の出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価。
教科書	丸小哲雄編注『こだわりのライフスタイルから観た日本の環境』(英宝社)1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	佐藤江里子

講義の内容・授業スケジュール	テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な英語表現を身につけることをめざす。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
成績評価の方法	前期後期試験(50%)と平常点(50%)による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。
教科書	教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	さわ だ ま ひろ 澤 田 真 弓

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Bill McLain 著、長阪朱美編注『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3750-7

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	すが わら のり こ 菅 原 典 子

講義のねらい	テキストとプリントを併用して、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、さまざまなジャンルのプリントを使用します。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	熊井信弘/Stephen Timson 共著 <i>Smash Hit Listening Revised Edition</i> 『ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミランランゲージハウス）2,100円 ISBN4-89585-480-9 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	との いけ かず こ 外 池 一 子

講義のねらい	現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。
履修上の留意点	コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましいです。
成績評価の方法	平常点30-40%、前期および後期の試験60-70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	矢島直子

講義のねらい

英語を聞いて、聞いたものをくり返す練習と書く練習をして、表現力をつけてもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを聞き、読んで、意味を理解し、質問に答え、課題を書いてもらいます。1年間で教科書を1冊終える予定です。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

James Bean, Listen to this ![Intermediate](成美堂) 2,400円
ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	山岸二郎

講義のねらい

すでに学んできた文法を整理し、それを活用して Reading から Writing への発展を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

Reading で文法知識を活性化させて、練習問題でその定着を図る。随時関連した Writing を追加する。

履修上の留意点

予習しておくこと。

成績評価の方法

平常の学習、小テスト、前・後期のテスト等総合的に評価する。出席重視。

教科書

Ins & Outs (金星堂) 1,700円
ISBN4-7647-3812-0 C1082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	吉江正雄

講義のねらい

英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

H. G. Wells の "A Short History of the World" というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。

履修上の留意点

予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。

成績評価の方法

前・後期試験の結果に、平常点(授業中での発表)を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の二以上出席して始めて受験資格(単位取得の資格)を得ることになる。

教科書

H. G. Wells 著『*A Short History of the World*』(ウェルズの簡約世界史)(こびあん書房)

《選択科目》

科目名	担当者名
ドイツ語 I A (選)	やぶ した こう いち 敷 下 紘 一

講義のねらい	ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦労しながらも、何とか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A (文法) で苦労しておく、あとが楽になります (2年生で)。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)
教科書	在間『わかって楽しいドイツ語』(三修社) 2,200円+税

科目名	担当者名
ドイツ語 I B (選)	の じま とし あき 野 島 利 彰

講義のねらい	英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらには EU を知る助けになります。
講義の内容・授業スケジュール	語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。
履修上の留意点	CD付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。
成績評価の方法	3課ごとに1回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験(筆記試験)の成績が評価の基準になります。
教科書	大谷弘道著「新・問いかけるドイツ語」(三修社) 2,600円
参考書等	ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。
その他	語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ウェルズ, J. K.

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・ 授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教 科 書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

そ の 他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名

担当者名

英会話 I

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）しないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「*Viva! San Francisco*」 published by Macmillan Language house
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... , Want ... , Would like ... / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit12 : Present Simple / Occupations
- Unit13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit14 : Transportation / Work & School
- Unit15 : The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

David Paul / *Communicate: book 1 a* / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting.

教科書

We will probably use Sociological Notes, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名**担当者名**

英会話 I

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book 1 ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

科目名**担当者名**

英会話 I

レーン, C. M.

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills, thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科目名

担当者名

英会話 I

ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

Warren Wilson, Roger Bernard *FIFTY - FIFTY: Student book 1* (Longman)
ISBN0-13-920000-2

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の日安は英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科目名	担当者名
英会話Ⅱ	ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・ 授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）しないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「*Viva! San Francisco*」 published by Macmillan Languagehouse
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

講義のねらい

English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are :

- Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3 : Romantic relationships / Dating
- Unit 4 : Shopping
- Unit 5 : Summer vacations / Domestic & Foreign Travel (1)
- Unit 6 : Jobs / Job Interviews
- Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8 : Music / Pop Groups
- Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit 10 : Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit 11 : Responses in various Situations / Stories
- Unit 12 : Plans for the Future

履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class in which all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (40%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller 『*Face To Face : English for Today's Generation*』 Student's Book 1 (Macmillan LanguageHouse) ¥2,100 + tax

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Within Your Reach: Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名
英語 L L I	おお た ま さ こ 太 田 雅 子

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習します。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねます。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成します。

履修上の留意点

4月第1回目の授業で、授業内容、方法、その他履修上の注意点について説明をするので、必ず出席してください。その時に、自分のユーザー ID とパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

矢作三蔵『*Natural English for Beginner*』

科 目 名	担 当 者 名
英語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training の CD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは前期の授業開始時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CD のダビングは著作権法上できません。授業時間内の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 Macmillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名
英語LLI	加藤 佐和子

講義のねらい	発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テキストを1 Lesson, 1 Unit ずつ進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。
履修上の留意点	各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。
成績評価の方法	毎回の小テスト・授業参加度50% まとめテスト50%
教科書	『English 20』(英進社) 『Tune In to the TOEIC Test』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名
英語LLI	久保 ひさ子

講義のねらい	海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習と小テストの合計点。
教科書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名
英語LLI	西村 祐子

講義のねらい	基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4 - 7月：基本的な会話表現を学習。シャドウイングによって短いセンテンスをくりかえし発音し覚える。ペアワークをおこなう。 9 - 12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。
履修上の留意点	学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータ ID を取得しておくこと。
成績評価の方法	定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。
教科書	前期は <i>Talk It UP</i> (1) (マクミラン社) 使用。
参考書等	教場で指定する。

科目名

担当者名

英語LLI

はなわ
美智子
みちこ

講義のねらい	PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使えるようになる。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) 2,300円
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL II	おお 太 た 田 まさ 雅 こ 子
講義のねらい	テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力の向上をはかります。
履修上の留意点	4月第1回目の授業時に人数制限をしますので、受講希望者は必ず出席してください。その時に授業内容、方法、その他履修上の注意点について詳しく説明します。自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。
成績評価の方法	毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。
教 科 書	小野田栄『BBC Understanding the News in English 3』

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL II	との いけ かず こ 外 池 一 子
講義のねらい	最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。
履修上の留意点	英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。新聞を毎日読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。また、基本的なコンピューターの操作が出来ることが受講の必須条件です。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教 科 書	開講時に指示します。
そ の 他	英語 LLI を受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生のみが受講対象です。初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。また、コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

科目名

担当者名

英語LLⅡ

にしむらゆうこ
西村祐子

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅡにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway Pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：*Headway Elementary*、および *pre-intermediate*、その他。

参考書等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および *(pre-intermediate)*、その他。

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要索であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(屋外球技)	放1必	通年	2	田中佳孝	113
健康・スポーツ実習(室内球技)	放1必	通年	2	山口良博	114
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	田中佳孝	115
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	放2・3・4年	通年	2	秋田浩一	116
健康・スポーツ実習(トレーニング) 〔再クラス〕	放2・3・4年	集中授業	2	秋田浩一	117
健康・スポーツ実習(卓球) 〔再クラス〕	放2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 山口良博	118
健康・スポーツ実習(バドミントン) 〔再クラス〕	放2・3・4年	集中授業	2	牧野茂	119
健康・スポーツ実習(ソフトボール) 〔再クラス〕	放2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 高橋俊介	120
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	放2・3・4年	集中授業	2	鈴木淳平	121
健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳) 〔再クラス〕	放2・3・4年	集中授業	2	光永吉輝	122
保健理論	放1必	半期	2	黒子幸一	123

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習(屋外球技)**たなか よし
たが
田 中 佳 孝**講義のねらい**

屋外で行う球技(テニス、ソフトボール、サッカー)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な技術習得や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目～5 時限目：テニス
(ラケットイング、ミニラリー、グランドストローク基本、ボレー、サーブ、シングルス・ダブルス)
- 6 時限目～9 時限目：ソフトボール
(キャッチボール、ノックによる捕球、トスバッティング、ゲーム)
- 10 時限目～14 時限目：サッカー
(キックの基本技術、ボールコントロールの基本技術、スモールサイドゲーム、ゲーム)
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

- 1. 服装は一般的な運動服装とする。
- 2. 運動用シューズを必ず用意すること。
- 3. 用具はすべて貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。(2 / 3 以上の出席が必要)

そ の 他

雨天の場合は他の室内施設を使用し、他のスポーツ種目を行う。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

やまぐちよしひろ
山口良博**講義のねらい**

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム
- 5 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バレーボール)
- 7 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルスゲーム
- 13 時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルスゲーム
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15 時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃(フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習(トレーニング)**あき た こう いち
秋 田 浩 一**[再クラス]**

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

健康・スポーツ実習(卓球)

しもや ちかつとし やまぐち よしひろ
下谷内勝利・山口 良博

〔再クラス〕

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(バドミントン)

まきの野 茂

[再クラス]

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。
- （2）体育館シューズを用意すること。
- （3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川体育館
 - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

しもや ちかつとし たかはし しゅんすけ
下谷内勝利・高橋 俊介

[再クラス]

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目

午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）

午後：同上

第2日目

午前：ゲーム

午後：〃

第3日目

午前：〃

午後：審判法・ゲーム

第4日目

午前：〃

午後：〃

第5日目

午前：〃

午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)
[再クラス]

みつ なが よし てる
光 永 吉 輝

講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラックスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目
午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月19日(水)~23日(日)、(後期)1月7日(日)~11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

保健理論

黒子幸一

講義のねらい

保健一般について医療の現場で行われているプライマリーケア、緩和ケアを理解することを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

医療に従事する上で必要な事項を理解するため、医療倫理については患者の人権・自己決定権、インフォームドコンセント、安楽死・尊厳死、蘇生とDNR、体外受精、遺伝子医療を考える、このほか3大疾患、生活習慣病、禁煙活動、メンタルヘルスについて理解する。

履修上の留意点

小テスト、レポート提出を実施する。

成績評価の方法

定期試験、小テスト、レポート、出席状況により評価する。

教科書

『シンプル衛生公衆衛生学』（南江堂）2,400円

参考書等

『臨床緩和ケア』（青海社）2,800円
『医療倫理』（勁草書房）3,000円

その他

授業方法は講義形式を主にビデオ学習、グループディスカッション、ロールプレイを行う。
プリント配布、講義スライド資料配布予定

保健体育科目

II 專門教育科目

Ⅱ. 専門教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
解剖学	放1必	半期	2	蜂屋順一	131
環境保健医学	放1必	半期	1	黒子幸一	131
電気工学	放1必	半期	2	佐藤昌憲	132
放射線物理学	放1必	通年	2	小山正希	133
診療画像技術学概論	放1必	半期	2	西尾誠示	134
放射線機器概論	放1必	半期	1	氏家盛通	134
放射線写真学	放1必	半期	2	古川克治	135
応用数学	放1必	半期	2	野口勝	136
診療画像技術学実験	放1必	半期	1	西尾誠示 飯田幸雄 熊坂さつき 長谷川武 三浦康平	137
医用物理学実験	放1必	半期	1	佐藤昌憲 小山正希 奥山康男 北沢日出男 羽生毅	138
医用化学実験	放1必	半期	1	山本裕右 榎尾英次 齊藤宏 田中一好 原田和正 三木瑛一	139
医学概論	放2必	半期	2	吉川宏起	140
臨床医学概論	放2必	半期	2	吉川宏起	140
生理学	放2必	半期	1	樋口雄三	141
病理学	放2必	半期	2	吉川宏起	141
生化学	放2必	半期	1	原田和正	141
電子工学	放2必	通年	2	金子順一	142
原子核物理学	放2必	通年	2	永井喜則	142
放射化学	放2必	通年	2	山本裕右	143
放射線生物学	放2必	半期	1	早川吉彦	144
放射線計測学	放2必	通年	2	青木清	145
診療画像技術学	放2必	通年	4	西尾誠示	146
放射線機器工学	放2必	通年	2	奥山康男	146
画像工学概論	放2必	半期	2	野口勝	147
医用画像工学	放2必 (診療)	半期	1	榎尾英次	148
画像数学	放2必 (画像) 放2選 (診療)	半期	1	志村一男	148

画像検査技術学基礎実習	放2必	半期	1	西尾誠示 氏家盛通 谷口貴久 未定	149
電気電子工学実験	放2必	半期	1	杉田徹 青木清 金子順一 川副護 吉田正廣	150
放射線機器工学実験	放2必	半期	1	奥山康男 檀尾英次 羽生毅	151
画像解剖学	放3必	半期	1	蜂屋順一	151
画像診断技術学 I	放3必 (診療) 放3選 (画像)	半期	1	吉川宏起	152
放射線医学概論	放3必	半期	1	蜂屋順一	152
医学英語	放3必	半期	1	吉川宏起	152
医用検査学	放3必	半期	1	奥山康男	153
診療画像情報学 I	放3必	半期	1	西尾誠示	153
画像診断機器工学	放3必	半期	2	檀尾英次	154
救急医療学	放3必 (診療) 放3選 (画像)	半期	1	奥山康男	154
臨床医療人間学 I	放3必	半期	1	奥山康男	155
核医学	放3必	通年	4	氏家盛通	155
応用計測学	放3必	半期	2	小山正希	156
放射線腫瘍学	放3必	半期	2	高山誠	156
応用機器工学	放3必	半期	1	檀尾英次	157
画像工学 I	放3必 (画像) 放3選 (診療)	半期	1	高野正雄	158
画像工学 II	放3必 (画像) 放3選 (診療)	半期	1	高野正雄	158
画像処理言語論	放3必 (画像)	半期	1	近藤啓介	159
放射線関係法規	放3必	半期	2	青木清	159
放射線管理学	放3必	半期	1	青木清	160
技術英語	放3必	半期	1	高橋優身	160
画像工学実験	放3必	半期	1	高野正雄 大谷勝彦 近藤啓介 瀬尾育式 野口勝 俣野公志	161
放射線治療技術学実験	放3必	半期	1	小山正希 飯田幸雄 佐藤昌憲 高城保 羽生毅 五十嵐太郎	162

放射線管理学実験	放3必	半期	1	青木清 金子順一 杉田徹 永井喜則	163
核医学検査技術学基礎実習	放3必	半期	1	山本裕右 氏家盛通 北沢日出男 眞正浄光 原田和正 村上雅彦	164
画像検査技術学実習	放3必	半期	4	蜂屋順一 飯田幸雄 奥山康男 西尾誠示	165
画像診断技術学Ⅱ	放4必 (診療) 放4選 (画像)	半期	1	吉川宏起	165
線量計測工学	放4必 (診療) 放4選 (画像)	半期	1	小山正希	166
診療画像情報学Ⅱ	放4必 (診療) 放4選 (画像)	半期	1	西尾誠示	167
臨床医療人間学Ⅱ	放4必	半期	1	氏家盛通	167
放射線治療技術学	放4必	半期	2	高山誠	168
画像と放射線治療	放4必 (診療) 放4選 (画像)	半期	1	吉川宏起	168
放射線学総合演習	放4必	半期	2	檀尾英次	169
医療放射線科学論文講読	放4必 (診療)	半期	1	吉川宏起	169
医療画像科学論文講読	放4必 (画像)	半期	1	高野正雄	170
医療放射線科学総合研究	放4必 (診療)	通年	2	青木清 氏家盛通 奥山康男 小山正希 佐藤昌憲 杉田徹 蜂屋順一 原田和正 山本裕右 吉川宏起	170
医療画像科学総合研究	放4必 (画像)	通年	2	高野正雄 檀尾英次 熊坂さつき 近藤啓介 西尾誠示 野口勝	171
核医学検査技術学実習	放4必	通年	2	吉川宏起 飯田幸雄 氏家盛通	171

放射線治療技術学実習	放 4 必	通年	2	吉川宏起 飯田幸雄 佐藤昌憲	172
画像処理論	放 4 必 (画像)	半期	1	近藤啓介	172
画像構築論 I	放 4 必 (画像) 放 4 選 (診療)	半期	1	近藤啓介	173
画像伝送論	放 4 必 (画像) 放 4 選 (診療)	半期	1	小林正明	173
計算機言語論	放 3 選	半期	2	近藤啓介	174
医療宗教学	放 3 選	半期	2	吉津宜英	175
医療経済学	放 3 選	半期	2	永山くに子	176
医療統計学	放 3 選	半期	2	休講	
量子論	放 3 選	半期	2	休講	
医学特論	放 4 選	半期	2	嶋田守男	176
医療生物工学	放 4 選	半期	2	休講	
最新医療技術	放 4 選	半期	2	休講	
放射線検出器工学	放 4 選	半期	2	休講	
放射線感光化学	放 4 選	半期	2	山本裕右	177
放射線化学特論	放 4 選	半期	2	山本裕右	177
放射化学特論	放 4 選	半期	2	原田和正	178
放射線学特論	放 4 選	半期	2	休講	
診療機器システム学	放 4 選	半期	2	休講	
医用材料工学	放 4 選	半期	2	休講	
画像構築論 II	放 4 選	半期	2	休講	
放射線被曝管理論	放 4 選	半期	2	青木清	178

科目名	担当者名
解剖学	蜂屋 順一
講義のねらい	解剖学は人体の正常な形態と構造を研究する学問であり、現代医学を理解するうえで最も基礎となる重要な分野である。その要点を確実に習得する必要がある。
講義の内容・授業スケジュール	骨格系、筋系、脈管系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系、発生学に分けて系統的に学習する。
履修上の留意点	教科書での予習、講義後の復習、テストを通して正確な知識を得るようにつとめること。
成績評価の方法	講義の過程に4回程度にわけて筆記試験を行う。
教科書	藤田恒夫著『入門人体解剖学』（南江堂）5,000円

科目名	担当者名
環境保健医学	黒子 幸一
講義のねらい	人間を取り巻く環境が健康に及ぼす影響と疾患との関係、疾病予防についての基礎的知識の習得を目的とする
講義の内容・授業スケジュール	健康を阻害する疾病、社会要因、環境因子を理解するために年齢別疾病罹患（高齢化社会の疾病）、環境因子の地域差・推移を知り、予防医学的考察まで進める
履修上の留意点	小テスト、レポート提出を実施する
成績評価の方法	定期試験、小テスト、レポート、出席状況により評価する
教科書	『シンプル衛生公衆衛生学』（南江堂）2,400円
参考書等	『国民衛生の動向』厚生指針（厚生統計協会）
その他	授業方法は講義形式を主にビデオ学習、グループディスカッション、ロールプレイを行うプリント配布、講義スライド資料配布予定

科目名

担当者名

電気工学

さとうまさのり
佐藤昌憲

講義のねらい

交流回路理論の基礎知識を得ることを目的としているこの科目は、診療放射線技師国家試験科目あるの、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする

講義の内容・ 授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- 1) 交流回路の基礎
- 2) 交流の平均値・実効値
- 3) 正弦波交流の基本回路
- 4) 交流の直列回路
- 5) 交流の並列回路
- 6) 交流の電力
- 7) 複素数とベクトル
- 8) 交流回路の計算
- 9) 相互インダクタンスを含む回路の計算
- 10) 三相交流の基礎
- 11) 三相の結線方法と電圧・電流の関係
- 12) 三相交流の電力と力率
- 13) 平衡三相交流回路の計算
- 14) 電気計測（電圧・電流・電力の測定）
- 15) 変圧器の基礎

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

『新電気基礎問題集』（綜文館）
『電気基礎下』（東京電機大学）

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主として光子）と物質との相互作用を中心として、最も多用されている X 線について発生機構を含めて、作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念。
- 2) 放射線の種類と分類。
- 3) 光子（X 線・ γ 線）の粒子性。
- 4) 光電効果（光量子の概念）。
- 5) 原子の構造・粒子の波動性。
- 6) X 線回折・ブラッグ反射。
- 7) 軌道電子のエネルギー準位。
- 8) 輝線スペクトル。
- 9) 制動 X 線・特性 X 線の発生機構。
- 10) X 線の線質。
- 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。
- 12) 吸収端現象とその応用。
- 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動輻射・チエレンコフ輻射など）。
- 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。
- 15) 電子の飛程。
- 16) 放射線の単位。

X 線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習する X 線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用にあると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

成績評価の方法

定期試験の他、2～3 回行う中間試験および出席状況により評価する。

教科書

教科書は使用しないが、主たる講義内容はプリントを配布する。

その他

授業の映像および毎時間ごとの内容が学内 LAN により、また自宅からも復習できる。

科目名**担当者名****診療画像技術学概論**にし おせい
西尾 誠示**講義のねらい**

医療の場において診療放射線技師の果たす役割とその関連事項、及び診療画像技術学を学ぶ上で基礎となる X 線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- (2) 診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- (3) X 線の発生、線質、減弱、物質との相互作用、写真効果などについて
- (4) X 線照射によって生じる写真効果と画像の拡大、歪み、重責効果など
- (5) コントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- (6) 管電圧、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- (7) 最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について
- (8) 医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称および体表解剖について
- (9) 単純撮影および特殊撮影について
- (10) 造影剤を用いた画像検査について

履修上の留意点

講義用の Power Point に要点を示してあるので、ノートに取ること。

成績評価の方法

定期試験を基準にする。

教科書

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円

参考書等

講義用 CD 及びプリント

その他

授業中に質問あるいは意見を求める。

科目名**担当者名****放射線機器概論**うじ いえ もり みち
氏 家 盛 通**講義のねらい**

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種 X 線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 診療 X 線機器：X 線機器の概要、X 線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- (2) 一般撮影装置：X 線装置・X 線発生装置、X 線制御装置。
- (3) X 線源装置：X 線用高電圧ケーブル、X 線高電圧発生装置、電源設備。
- (4) X 線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- (5) 関連用品：散乱 X 線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- (6) 診断用 X 線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- (7) 特殊 X 線装置：乳房用 X 線装置、泌尿器・婦人科系 X 線装置、乳幼児撮影装置。
- (8) X 線断層撮影装置：X 線間接撮影装置、X 線拡大撮影法・立体撮影法。
- (9) 循環器系 X 線検査装置：連続撮影装置、X 線シネ装置と関連機器。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な X 線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況による。

教科書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,140円

科目名	担当者名
放射線写真学	ふるかわかつはる古川克治

講義のねらい

画像診断の基をなす医用画像は湿式 (Wet) から乾式 (Dry)、さらにはフィルムレス診断へと大きく変化しつつある。

- ①スクリーン／フィルム系、dry 系感光材料の感光理論、現像処理、画像評価。
- ② Digital 画像の成り立ちと画像処理、保管・管理等の入門編概論。
- ③医用画像と廃棄物、環境問題。
これらに関し講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容

- ① S/F 系感光材料；感光理論、現像理論、画質評価
- ② X 線写真の成り立ちと各種 X 線センサーの特性
- ③ X 線画像の評価；センチメートルと画質特性 (含む digital)
- ④ Digital 画像の形成；画像処理、画像評価と保管の概論
- ⑤ Dry 感材の画像形成；Dry 感材の画像形成と画像特性
- ⑥ 医用画像と廃棄物；種々の法令と環境問題への対処
スケジュール

上記内容に沿って H. 18 / 9 ~ 12迄、延べ13回で実施予定。

履修上の留意点

- ①ミニテストやレポート提出を期中数回程度実施する。
- ②教科書、参考文献、PC、臨床写真等で理解を深める。
- ③各種写真 (基礎実験、臨床) を供覧、理論と実際を習得する。

成績評価の方法

期末試験を重視。ミニテストや出席等も参考に最終評価する。
追試は行う。

教科書

『放射線写真学』(富士フィルムメディカル株) 5,700円

参考書等

- ①日本写真学会編『改訂 写真工学の基礎 [銀塩写真編]』(コロナ社)
- ②友田宜忠著『写真の科学』(通商産業研究社)
- ③笹井明『写真の化学』(写真工業出版社)
- ④内田勝『放射線画像情報工学』(通商産業研究社)
- ⑤ T. H. James "The Theory of the Photographic Process" 4 th Ed. (Macmillan Co.)
- ⑥ T. S. Curry et al "Christensen's Introduction to the Physics of Diagnostic Radiology" (Lea & Febiger '84)
- ⑦日本医用画像工学会監修『医用画像工学ハンドブック』
- ⑧環境法研究会編『環境六法 平成16年版』(中央法規)

科目名

担当者名

応用数学

のぐち まさる
野口 勝

講義のねらい

診療放射線科学コースおよび画像技術科学コースの専門科目で必要となる基本的な数学を理解し、その応用力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

技術者にとっての数学の基本である微分・積分を、系統的・徹底的に学ぶ。

1. 関数・極限
2. 微分
3. 不定積分
4. 定積分
5. 定積分の応用・無限級数
6. 偏微分
7. 二重積分

履修上の留意点

数学は基礎の積み重ねが重要である。したがって要所要所で行う小テストを軽視せず、しっかりクリアして次のステップに進むよう心がけること。

成績評価の方法

2回の理解度確認テストと数回の小テスト、および学習態度の総合点による。

教科書

矢野・石原『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

参考書等

必要に応じて資料を配付する。

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。
 X線画像を左右する要因と基礎的な画質評価について実験を行う。

講義の内容・
 授業スケジュール

- (1) X線量と写真濃度
 被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- (2) 撮影条件表の作成
 アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- (3) 照射野の線量分布と撮影距離
 X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- (4) フィルムの特性曲線の作成
 距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。特性曲線と線量の関係を理解するとともに、その利用方法を学ぶ。
- (5) 撮影電圧とコントラスト
 電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。
 X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- (6) 増感紙の感度
 フィルムの特性曲線を作成し、各種増感紙の相対感度を求める。増感紙とフィルムの正しい組合せ、および感度と被曝線量の関係について学習する。
- (7) フィルム・増感紙の鮮鋭度／解像力
 矩形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。マイクロデンシトメータの取扱いを習得する。
- (8) 散乱線の評価
 上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- (9) グリッドの性能評価
 鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。
 実験マニュアルを事前によく読んで、内容を把握しておくこと。

成績評価の方法

定期試験、レポートについて総合的に判定する。
 但し、受験資格は全レポートを提出したものに限る。

教科書

実験マニュアルを配布する。

参考書等

立入弘監修「診療放射線技術上巻」(南江堂) 6,800円

科目名

担当者名

医用物理学実験

さとう 佐藤 昌憲・こやま 小山 正希
おくやま 奥山 やすお またざわ ひで お 北沢日出男
はぶ 羽生 たけし 毅

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の学習をする。後半はデーターを処理する方法の実験をする。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは個々によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けしスケジュールを発表する。

1. ガイダンス
2. 放射線実験室の立ち入り方
3. パソコンによるレポート作成法
4. 直流回路 (電界)
5. 交流回路 (磁界)
6. Excel 関数の使用法
7. 計測に関する統計と誤差
8. GM 計数管のプラトローの測定
9. サーベイメータの使い方
10. 電離箱の平衡厚測定
11. X 線の実効エネルギーの算定
12. NaI シンチレーションカウンタの使用法

成績評価の方法

1. レポート
2. 実験
3. 質疑応答
4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名

担当者名

医用化学実験

やまもと 山本 裕右・榎尾 英次
 さいとう 齊藤 宏・田中 一好
 はらだ 原田 和正・三木 瑛一

講義のねらい

医療分野において必要な化学に関する実験を通して、化学の基本原理や概念を理解すると共に、化学実験における基本操作、薬品取扱時の基礎知識を学ぶ。また、実験で得られたデータを客観的に評価し、分子レベルで化学的に考察してレポートにまとめる能力を育成する。

化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができるし、また、得られた実験結果に伴う誤差には原因があり、その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。

必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調製法
4. ハロゲン化銀の感光性と現像、定着試薬との反応
5. 中和滴定による酸の定量
6. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
7. 分子模型実習
8. pHメータによる緩衝能の測定
9. 硫酸銅(Ⅱ)五水和物の合成
10. ヨウ素滴定による銅(Ⅱ)の定量
11. δ-フェナントロリン法による鉄(Ⅱ)の比色分析
12. イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

- ・欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。
- ・遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。
- ・予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくること：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作成し、使用する薬品の性質、器具の使用方法について下調べしておく。
- ・実験室内での規則を守ること：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。
- ・レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリント使用

参考書等

新版『実験を安全に行うために—事故・災害防止編』(化学同人) 840円
 新版『(続) 実験を安全に行うために—基本操作・基本測定編』(化学同人) 735円
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

その他

関数電卓を持参すること。
 また、必要に応じ、グラフ用紙等を用意すること。

科目名**担当者名****医学概論**よし かわ こう き
吉 川 宏 起**講義のねらい**

現代医学で行われている実際の医療について幅広く理解し、その中での放射線医学の役割について理解する。さらに医療従事者として必要な人権を尊重した医療倫理について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

病院や診療所で行われている医療について、医療現場の構造やそこで働く医療従事者の役割分担について具体例を挙げながら概説する。この医療全般の中における放射線医学、すなわち放射線診断学、核医学、放射線治療学それぞれの役割について解説する。とくに個々の分野で使用されるモダリティー（X線撮影装置、X線CT（computed tomography；コンピュータ断層撮影）、MRI（magnetic resonance imaging；磁気共鳴映像法）、超音波装置、核医学装置、放射線治療装置など）についてその原理や特徴の概略を解説する。さらに医療従事者として必要とされる医療倫理およびそれに裏打ちされたマネジメントケアについて解説する。

履修上の留意点

広範囲にわたる放射線医学について理解を深めることが重要で、数多くの放射線診断あるいは放射線治療モダリティーの特徴、これらの臨床的有用性と限界について理解することが重要である。

成績評価の方法

出席率、授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

日野原重明著『医学概論』（医学書院）1,600円

科目名**担当者名****臨床医学概論**よし かわ こう き
吉 川 宏 起**講義のねらい**

医学概論で学んだ知識を基に、更に一步進めて主要疾患に対する核医学を含めた放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。IVR（interventional radiology）や近年、注目を浴びている遺伝子治療の中での放射線医学の役割についても概略を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系および循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿生殖器系、運動器系の疾患について放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。放射線医学で使用される各種診断モダリティーおよび核医学装置、放射線治療装置の有用性と限界について概説する。またX線造影剤およびMRI（磁気共鳴映像法）用造影剤の種類と使用方法について概略を解説する。近年、急速な発展を遂げている血管あるいは血管以外におけるIVRの現況や放射線学における遺伝子治療についても概説する。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な種々の疾患の概念を習得し、実際の臨床に結びつく放射線医学（放射線診断学、核医学、放射線治療学）の基礎的知識を獲得することが重要である。

成績評価の方法

出席率、授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	担当者名
生理学	樋口雄三

講義のねらい

生理学は、専門的知識を構築する基礎となるものであり、十分に習得して欲しい。講義では、いろいろな生命現象が関連し、恒常性が維持されていることをわかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 恒常性維持と生体防御機構
2. 血液・体液
3. 心臓血管系・循環系
4. 呼吸
5. 消化・吸収・代謝
6. 排泄
7. 内分泌
8. 脳・神経系
9. 筋・行動系
10. 感覚系

成績評価の方法

定期試験、平常点、出席状況などから総合的に評価する。特に出席時数を重視する。

教科書

下 正宗『人体の構造と機能』（医学書院）3,000円

科目名	担当者名
病理学	吉川宏起

講義のねらい

ヒトの疾病の原因、なりたちを形態的、機能的な変化から追求する学問であり、画像診断学、放射線治療学を理解するための必須の基礎的知識を習得するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

炎症、感染症、免疫異常、代謝障害、循環障害、腫瘍その他についての総論的解説につづいて各臓器の主要疾患の要点を説明する。

履修上の留意点

病理学の理解には既に学んだ解剖学の知識が必要になる。学習に際して正常解剖を適宜復習しつつ正確な知識を集積して欲しい。

成績評価の方法

出席率、小テスト、定期の筆記試験

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	担当者名
生化学	原田和正

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 細胞
2. 酵素とビタミン
3. 代謝
4. 核酸と遺伝子
5. タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

猪飼篤著『化学入門コース8生化学』（岩波書店）2,913円

参考書等

林典夫・廣野治子編『シンプル生化学』（南江堂）2,800円

科目名

担当者名

電子工学

かね こ しゅん いち
金子 順 一

講義のねらい

電子工学は、電子の挙動の制御を通してエネルギーや情報を制御する技術である。この技術は、医療分野の測定器から日常生活まで極めて広い範囲の基礎となっている。本講義では、電子工学の基礎的な分野について理解することを目標として、以下の内容で講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の基本的性質、相互作用
2. 各種電子素子への応用
3. 基礎的な回路技術
4. 測定回路・測定器
5. 電子機器への応用

成績評価の方法

中間試験、定期試験及び出席状況で評価を行う。

教科書

宇佐美品・曾根福保共著『テキストブック 電子工学概論』（日本理工出版会）2,500円＋税 ISBN4-89019-115-1

その他

この科目は、診療放射線技師国家試験の試験科目に含まれている。

科目名

担当者名

原子核物理学

なが い よし のり
永 井 喜 則

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。正確な理解をすると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図）
3. α 壊変（ α 線のエネルギー、ガイガーヌッタルの法則、トンネル効果）
4. β 壊変（ β^- 壊変、 β^+ 壊変、 β 線のエネルギー、電子捕獲、カリブプロット）
5. γ 線放射（ γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスバウアー効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

上原周三著『放射線物理学』（南山堂） 田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）
鷲見義雄著『原子核物理入門』（裳華房）

その他

授業の中では演習問題を解くこともする。電卓を用意しておくこと。

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
 本講義では、すでに1年次に学んだ「基礎化学」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た、化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「核医学検査技術学基礎実習」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「核医学」、「放射線管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。
 なお、診療放射線技師試験の科目として「放射化学」がある。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の観点から以下の内容について講義する。

1. 天然に存在する放射性同位体
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性核種の製造
5. 放射性同位体の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

中間試験、学年末試験および平常点により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして 日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会 1,680円）を使用する。講義には必ず持参すること。

その他

並行して演習問題を行うので、関数電卓を持参すること。

科目名

担当者名

放射線生物学

はやかわよしひこ
早川吉彦

講義のねらい

放射線が生物に及ぼす影響を、分子や細胞のレベルから個体や集団のレベルに至るまで総合的に理解する。それによって、今後治療技術学や安全管理学を学んでいく上での基礎となる「被ばくの影響を正しく評価するための知識」を身につける。

20世紀後半における分子遺伝学の進歩によって、生物への放射線影響の解析は著しく進歩した。この講義では、高線量及び低線量の放射線の生物影響研究の最新の知識を伝えたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 放射線生物学の基礎：細胞、遺伝
- 2 生物作用の初期過程：物理・化学・生化学的作用
- 3 放射線による細胞死、細胞の生存率曲線とその解析：標的理論、LQモデル
- 4 放射線影響の修飾：LET、線量率、分割照射、酸素、温度、細胞周期など
- 5 DNA損傷とその修復、遺伝子突然変異と染色体異常
- 6 細胞への影響：分裂遅延、アポトーシスとネクローシス、適応応答、バイスタンダー効果
- 7 組織・臓器への影響：早期障害と後期障害、確定的影響と確率的影響
- 8 放射線による発がんや遺伝的影響、胚と胎児への影響
- 9 腫瘍の放射線生物学：感受性とその修飾、分割照射と4R、高LET、温熱
- 10 放射線被ばくのリスクと防護

履修上の留意点

授業開始時刻厳守のこと。

成績評価の方法

総合的評価として、期末に筆記試験を行う。出席状況も評価する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

江島洋介、木村博編、放射線技術学シリーズ『放射線生物学』（オーム社）2002年

その他

講義。形成的評価としてプレテストまたはポストテストを実施する。

科目名	担当者名
放射線計測学	あおき 青木 清

講義のねらい

放射線にはいろいろな種類があり、物質との相互作用もそれぞれ異なっている。また、同じ種類の放射線であっても、エネルギーにより振るまいが異なる。このような多様な放射線を計るため、たくさんの検出器が考案されている。正確な測定を行うにはこれらの検出器を目的に応じて使い分けることが大切である。本講義ではこれらのことを念頭に置いて、代表的な検出器の動作原理と特徴、ならびに測定結果の評価法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
1. 放射線検出の概要
 2. 電離箱の基本原理と構造
 3. パルス電離箱
 4. 照射線量と各種電離箱
 5. 電離箱による吸収線量測定 (ブラッグ・グレイの空洞理論)
- (後期)
6. ガス増幅を利用した検出器 (比例計数管、GM 計数管)
 7. 半導体検出器
 8. シンチレーション検出器
 9. 計数値の統計処理
 10. 放射線のエネルギー測定
 11. 放射能の測定

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするよう心がけてほしい。講義の後には短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

中間試験、定期試験ならびに出席状況により評価する。

教科書

長哲二著『放射線計測学』(南山堂) 2,940円

参考書等

『放射線計測学』(オーム社)、『放射線基礎計測学』(医療科学社)、『放射線計測学』(コロナ社)

科目名	担当者名
診療画像技術学	にし おせい 西 尾 誠 示

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や基礎的な画像工学を元にした幅広い分野から構成される。体表解剖、解剖・生理を裏付けとした整位、及び理論的な撮影条件を始めとして臨床画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) X線撮影の基礎的知識
- (2) 頭部の撮影技術
- (3) 側頭骨・聴器の撮影技術
- (4) 副鼻腔・眼窩・顔面の撮影技術
- (5) 椎骨の撮影技術
- (6) 胸郭その他の骨の撮影技術
- (7) 四肢骨の撮影技術
- (8) 胸部撮影の理論
- (9) 胸部撮影技術と画像
- (10) 腹部の特徴とその撮影技術
- (11) 乳腺・軟X線撮影の理論と技術
- (12) 小児科領域の撮影技術

履修上の留意点

講義は教科書とPower Pointとを用いる。必ずノートをとること

成績評価の方法

定期試験及び中間試験を基準に評価する。

教科書

『放射線画像技術学』(医歯薬出版) 4,800円

参考書等

講義用CD、プリント

科目名	担当者名
放射線機器工学	おく やま やす お 奥 山 康 男

講義のねらい

診断用X線発生装置をはじめとする各画像診断装置の基本原理、構造、特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、X線管装置から単相、三相全波整流式X線装置について。後期は、インバータ式、コンデンサ式、自己整流式X線装置やX線TV装置ならびに他の画像診断装置についての概要を講義する。

履修上の留意点

放射線機器工学を理解するには、電気工学、電子工学、物理学などを併せて履修する。基本的事項を理解して身につけることが必須であるため重視したい内容となる。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

青柳泰司ほか編『新版 放射線機器学 (I)』(コロナ社) 4,935円

科目名	担当者名
画像工学概論	野口 勝

講義のねらい	医用画像形成システムに使われている画像情報の理論を理解し、画質の解析と評価、画像の処理、医療画像情報システム等に関する知識を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医用画像情報の役割 2. X線画像の形成 アナログ画像とデジタル画像 3. Fourier変換 4. 画質の評価 入出力特性、解像特性、ノイズ特性、DQE、ROC 5. デジタル画像の処理 ファイル、フィルタリング、実際に使用されている処理 6. 医療画像情報システム PACS、RIS、HIS、Tele-Radiology
履修上の留意点	講義の内容が多いので、自習を心がけること。
成績評価の方法	2回の理解度確認テストと数回の小テスト、および学習態度の総合点による。
教科書	桂川茂彦編『医用画像情報学』（南山堂）
参考書等	必要となる資料はプリントを配布する。
その他	理解を深めるために、演習を行う。

科目名	担当者名
医用画像工学	かし 櫃 たい 尾 英 じ 次

講義のねらい	医用画像工学は、工業に利用されている画像工学および画像処理工学と共通する部分が多いため、その基礎を導入として学ぶ。次に医用画像診断機器で利用されている画像処理法について学修する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前半に画像工学と画像処理工学を学び、後半で医用画像診断機器の画像処理について学修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 画像の表現 2 画像処理システム 3 画像情報処理 4 濃淡画像処理 5 2値画像処理 6 コンピュータグラフィックス 7 画像認識 8 3次元画像処理 9 核医学画像処理および臨床プログラム 10 CT画像の再構成法 11 医用画像工学に関する演習
履修上の留意点	画像処理工学の教科書により講義の予習と復習を行うこと。画像を扱う実験や画像診断機器の講義では、画像工学の講義との関連について学修してほしい。
成績評価の方法	原則として、毎回講義の後小テストを実施する。講義のキーポイントを把握するように努力されたい。小テスト、中間試験、定期試験および出席状況により評価する。
教科書	メカトロニクス教科書シリーズ9 『画像処理工学』（コロナ社）3,000円＋税 必要に応じて教材用プリントを使用する。
参考書等	医用放射線科学講座14 『医用画像工学』 第2版（医歯薬出版株）

科目名	担当者名
画像数学	し 志 むら 村 かず 一 お 男

講義のねらい	画像数学は画像研究の基礎となる学問、科学である。X線写真、CT、MRといった様々な医用画像の画質評価、また画像強調、データ圧縮、画像認識といった各種の画像処理は全てその基礎となる画像数学の上に成立している。本講義を通じて画像数学を理解する事により、画質評価や画像処理の本質を把握してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	<p>画像のデジタル化における数学 画質評価における数学 フィルタ処理における数学 データ圧縮における数学 画像間演算における数学 画像認識における数学</p>
成績評価の方法	年度末試験、学習状況、出席等により評価する。
教科書	授業内容に関するプリントを随時配布する。
参考書等	ローゼンフェルド、カク『デジタル画像処理』（近代科学社）

講義のねらい

X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、撮影法と得られた画像の関係について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 頭部 X 線撮影法
頭部ファントムを用い、頭部の撮影法を学ぶと共に、頭部の画像解剖を理解する。
- (2) 耳鼻科領域の撮影法
頭部ファントムを用いて副鼻腔及び聴器の撮影法を学び、画像解剖を理解する。
- (3) 椎骨、骨盤の X 線撮影法
頸椎、腰椎骨盤ファントムを用い、頸椎、腰椎の撮影技術を習得する。
- (4) 四肢骨の撮影法
手関節、肘関節、膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- (5) 胸部の撮影技術と感光材料
胸部ファントムを用い、胸部の撮影手技を学び最適な撮影条件と検出系を選択する。
- (6) 乳腺の X 線撮影 (Mammography)
乳房用 X 線装置、乳房ファントムを用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線撮影の特殊性を理解する。
- (7) 胃造影検査法
X 線 TV 装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視・撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価について学ぶ。
- (8) X 線 CT 検査法
X 線 CT 装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。
- (9) 超音波検査法
超音波診断装置を使用し、ファントムと生体にて超音波の原理と撮像技術を学ぶ。
- (10) MR の取扱法と撮像
MR 装置の原理・構造と基礎的な撮像技術について学ぶ。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。
授業前にマニュアルを読み、実習内容を把握しておくこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート・試問について総合的に判定する。
但し、定期試験の受験資格は全レポートの提出者のみである。

教 科 書

実験・実習プリントを配布する。

参 考 書 等

参考：稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）

科 目 名

担 当 者 名

電気電子工学実験

すぎた 杉田	とおる 徹	あおき 青木	きよし 清
かねこ 金子	じゅんいち 順一	かわそえ 川副	まさひろ 護
よしだ 吉田	まさひろ 正廣		

講義のねらい

電気電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと、各自が行うものがある。

講義の内容・ 授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 直列共振・並列共振
2. 電磁誘導回路
3. RC回路
4. 三相12ピーク整流回路
5. コンデンサの充放電
6. 整流回路
7. 半導体素子
8. 集積回路
9. パーソナルコンピュータ I
10. パーソナルコンピュータ II

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと
レポートは期限内に提出すること

成績評価の方法

レポートと定期試験の結果に、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『電気電子工学実験』（授業の時に配布）

そ の 他

パーソナルコンピュータの実験は総合情報センターで行う。
前期、後期のはじめにガイダンスを行うので必ず出席のこと。

科目名

担当者名

放射線機器工学実験

おくやま やすお かしお えいじ
奥山 康男・樫尾 英次
はぶ ななし
羽生 毅

講義のねらい

「放射線機器工学」の講義で学修する理論を、実験を通して理解させることに主眼を置き、併せて各種放射線機器や装置の取り扱い法を習熟させることを目的としている。眼底カメラについては、眼底写真の撮影法を実習して、後日眼科医による臨床講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 実験を遂行するうえで必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。
- 1：X線管焦点寸法の測定
 - 2：X線管電圧、X線管電流の測定
 - 3：眼底カメラによる眼底写真撮影
 - 4：撮影時間の測定
 - 5：インバータ式X線装置の特性
 - 6：MR装置やX線CT装置等によるファントム測定

履修上の留意点

実験は結果の修得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識の習得を図る目的で設置された科目である。従って、実験中は既に学修済みの内容の確認、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛ける。報告書（レポート）の作成にあたっては、所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識して欲しい。なお、報告書の提出時の試問は、記録内容の理解度を確認し、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求められることがある。

成績評価の方法

実験態度、報告書、試問、中間・定期試験などの結果によって総合評価する。

教科書

配布プリントを使用する。

参考書等

- ・「JISハンドブック 39 放射線（能）」最新版（日本規格協会）
- ・放射線機器工学の教科書

その他

実験科目の単位取得には所定のテーマを全て終了することが必要で、やむ負えない理由で欠席した場合は、追実験等を受けなければならない。

科目名

担当者名

画像解剖学

はち や じゅん いち
蜂 屋 順 一

講義のねらい

単純X線撮影、CT、超音波画像、MRIなど各種の医用画像診断の根底にあるのは正常画像解剖の知識であり、適切な検査を行うためにはこの点に関する正確な理解が要求される。既に習得した人体解剖学の基礎の上に臨床的に特に重要な領域の画像解剖学についての解説を行う。

講義の内容・授業スケジュール

基礎となる解剖学を新たに画像診断の角度からながめて要点を再確認しつつ、スライドで供覧する画像所見との対比を行う。対象領域は頭部、胸部、腹部、骨盤腔、四肢とする。

履修上の留意点

必要に応じて解剖学の講義で使用した教科書をよく復習すること。

成績評価の方法

定期試験

教科書

使用しない。

科目名**担当者名**

画像診断技術学 I

よし かわ こう き
吉 川 宏 起**講義のねらい**

放射線診療で利用されている画像診断法（主として X 線コンピュータ断層撮影（CT）や磁気共鳴画像法（MRI）、超音波検査など）の原理について習熟し、各モダリティの代表的な画像情報処理法を理解する。各種画像から得られる情報を総合的に診断する方法について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. X 線 CT、磁気共鳴映像法（MRI）、超音波検査の撮像原理。
2. 各モダリティの特徴と限界、画像アーチファクト。
3. 各モダリティによる臨床画像読影。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

科目名**担当者名**

放射線医学概論

はち や じゅん いち
蜂 屋 順 一**講義のねらい**

既に学んだ解剖学、病理学の基礎の上に、放射線診断が臨床医学の中で占める役割を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

放射線医学のはじまりと発展の歴史、放射線診断学の現況を解説すると共に、主要疾患につき診断手法の適応と選択、診断能とその限界について講義をすすめる。

履修上の留意点

既習の科目と関連する部分は各自必要に応じて復習しておくこと。

成績評価の方法

定期試験。

教科書

使用しない。

科目名**担当者名**

医学英語

よし かわ こう き
吉 川 宏 起**講義のねらい**

医学領域では診療情報の伝達に英語が頻繁に用いられている。また英語圏におけるインターネットのホームページから得られる医学知識は膨大である。このように医療チームの一員として活躍する診療放射線技師にとって英語学習は必要不可欠なものとなっている。本講義では臨床の場に役立つ基本的な単語および診療録の慣用句を中心に学び、診療の場で実践に役立つ医学英語の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. 代表的な解剖用語、病名などの医学用語の習得。
2. 診療の場で用いられる代表的な英会話の習得。
3. インターネットのホームページ上の慣用句の習得。
4. 英文論文の抄読法の習得。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	担当者名
医用検査学	おく やま やす お 奥 山 康 男

講義のねらい	医用検査学は広義に病態解析と生体情報解析に大別できる。病態解析領域では生理機能を重視した基礎教育を行い、生体情報解析では生体情報を集める生体そのものについての概要を講義する。
講義の内容・授業スケジュール	生態における様々な生命現象を体表から電気信号として誘導・測定して、これらの情報をデジタル化して視覚化する方法や心電図、MRI、超音波診断、心臓核医学などによって得られた画像の処理・解析法および疾患に特化した臨床診断などを用いて学習する。
履修上の留意点	各画像診断装置の基本原理や診療画像技術学の基礎知識を身につけておくこと。
成績評価の方法	出席状況、学内定期試験により評価。
教科書	授業中のスライドやレジュメ等にて対応。

科目名	担当者名
診療画像情報学 I	にし お せい じ 西 尾 誠 示

講義のねらい	造影剤を用いた検査と画像を主体に講義を行う。学生は実際の検査手技と臨床画像の評価方法を習得すること、更に最低限正常像について解説できることが望ましい。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> (1) 概論 (2) 胸部単純像と CT 像の評価 (3) 腹部単純像と CT 像の評価 (4) 乳腺画像の評価の評価 (5) 腹部実質臓器の検査と画像 (6) 上部消化管造影技術と画像 (7) 下部消化管造影技術と画像 (8) 心・大血管の検査と画像 (9) 冠状動脈の検査と画像 (10) 腹部血管の検査と画像 (11) 頭部血管造影検査と画像 (12) 頭部 CT 像の画像評価
履修上の留意点	Power Point を用い主に撮像技術と臨床画像について解説する。履修者は生体解剖と対比しながら画像を評価することが望まれる。
成績評価の方法	定期試験を基準にする。
教科書	稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円
参考書等	講義用 CD およびプリント
その他	授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科目名	担当者名
画像診断機器工学	かし お えい じ 櫃 尾 英 次

講義のねらい	画像診断機器工学は、MR イメージング装置を重点に講義する。その他、X 線 CT 装置、DSA 装置および医用超音波診断装置についても、その概要を講義する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 核磁気共鳴の物理的原理 2. スピンエコー法 3. MR 画像形成の原理 4. MR イメージングシステムの概要 5. MR イメージングの諸特性 6. X 線 CT 装置の諸特性 7. DSA 装置の概要 8. 医用超音波診断装置の諸特性 9. 画像診断機器についての演習
履修上の留意点	放射線物理学、原子核物理学および超音波の性質について予め復習しておくこと。
成績評価の方法	中間試験、定期試験および出席状況により評価する。
教科書	放射線技術シリーズ 『MR 撮像技術学』 日本放射線技術学会監修 (株)オーム社 必要に応じて教材用プリントを使用する。
参考書等	医用放射線科学講座 13 『放射線機器工学』 第2版 医歯出版(株) レイ・H・ハツエミ他、監訳 荒木 力 『MRI の基本』 第2版 パワーテキスト (株)メ ディカル・サイエンス・インターナショナル

科目名	担当者名
救急医療学	おく やま やす お 奥 山 康 男

講義のねらい	総合的かつ広範な医学知識や技術が不可欠であるとともに十分な臨床経験が必要である救急医療において、診療放射線技師が実際の臨床現場で備えておかなければならない検査手技の基礎について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	救急医療学の概略と心構えを概論で講義し、救急医療における検査方法と手技、画像の読み方を解説する。さらに、放射線科領域における業務はその特殊性から患者さんと1対1になるケースが多いため、急変時の対応として実技を兼ねた上級救命講習を消防署の協力で開催する予定である。なお、消防署に支払う受講料(平成18年現在¥2,600)は、受講時に別途発生する。
履修上の留意点	救急医療は、一刻を争う処置が必要なこともあるため放射線領域の検査を担う診療放射線技師の技術、判断力は患者さんの生命に何らかの形で関与すると言っても過言ではない。目の前の問題を迅速に処理するための実践的な内容を重視した講義となる。
成績評価の方法	出席状況、学内定期試験により評価。
教科書	授業中のスライドやレジュメ等にて対応。
参考書等	志賀元ほか編『救急医療パーフェクトマニュアル』(羊土社) 6,090円

科目名	担当者名
臨床医療人間学 I	奥山康男

講義のねらい	医療現場で発生する倫理的諸問題すなわち生命倫理について学び、生命倫理を広く人間学の立場から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	科学史と医療との関係からはじまり、人間理解の心理学と哲学、ターミナルケア、尊厳死と安楽死、人工臓器と生命維持など、医療分野を学ぶ人のために必須となる生命と医療の原点を考える。
履修上の留意点	倫理学とは、「他者（患者）との人間関係において、わたしはいかに振る舞うべきかを考える哲学」の学問である。この教科をよく理解するには、同じ内容の話しや同じ事例を話しても学生の受け止め方がまちまちなはずである。何が正しいのかを自分で判断できる力を養うことを重視する。
成績評価の方法	出席状況、レポート提出、学内定期試験にて総合的に判定。
教科書	教科書は使用せずレジメ等を用いる。

科目名	担当者名
核医学	氏家盛通

講義のねらい	核医学検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性医薬品を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。 これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別される。これらは放射性医薬品を生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技などについて講義する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 核医学の基礎知識 核医学とは・核医学の歴史・安全管理 放射性医薬品 インビトロ用放射性医薬品・インビボ診断用放射性医薬品 ・核医学治療用医薬品・シングルフォトンおよびポジトロン放出放射性医薬品・ インビボ検査各論 中枢神経系（脳血流・脳脊髄・FDG-PET） 内分泌（甲状腺・副甲状腺・副腎） 呼吸器（肺血流・肺吸入） 循環器（心筋血流・心プール） 消化器（唾液腺・肝・胆道・出血） 泌尿器（腎・レノグラム） 骨・関節、血液・造血器（循環血液・赤血球寿命・骨髄・リンパ） 腫瘍炎症（ガリウム・タリウム・FDG-PET） インビトロ検査 検査の概要、検査の基礎、検査の原理、検査の流れ、測定試料の評価、基準値 核医学治療 治療の概要、甲状腺、骨転移の除痛療法
履修上の留意点	病院実習Ⅱでは、核医学検査技術学の実習が50%を占めているので相互理解を深めるように努めること。
成績評価の方法	中間試験・定期試験の結果および出席状況による。
教科書	『核医学検査技術学』（南山堂）4,410円
参考書等	『最新核医学検査技術』（メディカルトリビューン）5,000円 『核医学ノート』（金原出版）4,500円

科目名

担当者名

応用計測学

こやままさき
小山正希

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理して中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた利用状況について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの
計数管を用いて変換荷電粒子をパルス測定する場合の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の確度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

成績評価の方法

定期試験の他、随時おこなう中間試験、出席状況などにより評価する。

教科書

使用しない

科目名

担当者名

放射線腫瘍学

たかやま
高山誠

講義のねらい

癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。
放射線の人体に対する影響などの放射線治療の基礎となる放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器の特性、使用方法について解説を行う。放射線治療を行う際の放射線治療計画、線量分布や照射方法（外部照射、密封小線源治療等）の総論的項目について考える。
また、医療技術の進展の内で、特に放射線治療の技術的な動向について考える。
新しい治療方法である定位放射線治療や強度変調照射（IMRT）の現況、応用に関する技術的問題点など、その方向と展開に注目する。

成績評価の方法

授業出席、受講態度などと定期試験による。

教科書

村上見一著『放射線治療技術』
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名**担当者名**

応用機器工学

かしお
櫃尾英次**講義のねらい**

応用機器工学は、核医学診断装置を前半に講義する。また、後半に加速器関連で放射線治療に用いられる線形電子加速器を重点に講義し、その他の加速器、サイクロトロンやマイクロトロン等についてもその概要を講義する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前半に核医学診断装置、後半に加速器を学修する。

1. 放射線計測の基礎
2. ガンマカメラ
3. SPECT
4. PET
5. 核医学データ処理システム
6. 加速器の概要
7. 線形電子加速器、進行波型加速管の加速方法
8. パルス変調器、偏向マグネット、真空装置および水冷装置
9. 照射ヘッド
10. 線形陽子加速器
11. サイクロトロン、シンクロトロン、マイクロトロン
12. 核医学診断装置関連の演習
13. 加速器関連の演習

履修上の留意点

放射線計測学、放射線物理学、原子核物理学などで、シンチレーション検出器、ガンマ線放出核種、放射線計測回路および加速器に関連のある項目について予め予習しておくこと。

成績評価の方法

中間試験、定期試験および出席状況により評価する。

教科書

三枝 健二、入船 寅二他共著、新版 『放射線機器学』(Ⅱ)放射線治療機器・核医学検査機器 (コロナ社)
必要に応じて教材用プリントを使用する。

参考書等

放射線技術シリーズ 『核医学検査技術学』 日本放射線技術学会監修 (株)オーム社
実験物理学講座28 『加速器』 共立出版(株)

科目名	担当者名
画像工学Ⅰ	たかのまさお 高野正雄

講義のねらい

医用画像形成システムに使用されている画像データ処理に関する基礎理論の学習と演習をおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 画像情報のデジタル化
2. 標本化と量子化
3. 二次元及び三次元画像形成システムの画像データの取り扱い
4. 画質改良のための画像処理
5. 保管／検索、通信のための画像処理
6. CAD システム

履修上の留意点

理解を深めるための補足資料を配布します。よく復習して下さい。

成績評価の方法

中間試験と定期試験の総合点。

教科書

岡部哲夫、藤田広志編集『医用画像工学（第2版）』（医薬出版）4,900円

参考書等

谷口慶治編『画像処理工学』（共立出版）3,800円

その他

演習を多くおこないます。欠席しないように。

科目名	担当者名
画像工学Ⅱ	たかのまさお 高野正雄

講義のねらい

「画像工学Ⅰ」で学習した基礎理論をもとに、実際に医療現場で実用されている画像形成システムの具体的構成要素について、理論的にその内容を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 画像情報の検出器と入力装置
2. 画像処理のアルゴリズム
3. 出力装置と視覚系による読影
4. 医療画像情報のネットワーク構築と画像処理

履修上の留意点

学習内容が多いので、良く復習して下さい。

成績評価の方法

レポート及び試験の総合点

教科書

岡部哲夫、藤田広志編『医用画像工学（第2版）』（医薬出版）3,800円

参考書等

岡部哲夫、瓜谷富三編『放射線診断機器工学（第2版）』（医薬出版）5,000円

科目名	担当者名
画像処理言語論	近藤 啓介

講義のねらい	医療現場においてデジタル化された画像は、画像処理をしてから医師により読影されている。画像処理には様々な方法があり、研究・開発が盛んに行われている。医師の望む画像を作成するためには画像処理の仕組みを理解する必要があり、そのためにはコンピュータの中でどのように処理されているかを理解する必要がある。 この授業では「計算機言語論」で習得したC言語を利用して、実際の医用画像に対して基本的な画像処理プログラムを作成する。そして、画像処理がコンピュータの中でどのように処理されているのかを自らプログラミングすることにより理解する。
講義の内容・授業スケジュール	画像のデジタル化 医用画像の構成 平滑化フィルタ ラプラシアンフィルタ ソーベルフィルタ メディアンフィルタ ボケマスク処理
履修上の留意点	演習形式で行うので、積極的に受講すること。
成績評価の方法	出席状況とレポートにより評価する。
教科書	近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、『医療画像処理実践テキスト』（オーム社）4,200円

科目名	担当者名
放射線関係法規	青木 清

講義のねらい	放射線を取り扱うにあたっては関連する法令を理解しておくことが必須である。診療放射線技師の業務に関しては診療放射線技師法、医療用の装置や放射性同位元素に関しては医療法、医薬品を除く放射性同位元素や加速器に関しては放射線障害防止法、放射線関連業務従事者の安全に関しては電離放射線障害防止規則により規制されている。本講義ではこれらの法令の内容と関連性を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	1. 放射線関係法令における基礎事項 2. 医療用放射線と法令 3. 診療放射線技師法 4. 医療法施行規則 5. 放射線障害防止法 6. 電離放射線障害防止規則
履修上の留意点	基本的事項を確実に把握するよう心がけてほしい。
成績評価の方法	定期試験ならびに出席状況により評価する。
教科書	医用放射線科学講座4『放射線安全管理学第3版』（医歯薬出版）
参考書等	『医療放射線防護関係法令集』（日本アイソトープ協会）

科目名	担当者名
放射線管理学	あおき きよ 青木 清

講義のねらい	放射線の利用においては、不必要な被ばくが生じないように、適切で安全な状況を作り上げ維持することが重要である。そのための基本的な理念と指針を与えているのが「国際放射線防護委員会（ICRP）の勧告」である。本講義ではこの勧告の概要について学ぶとともに、それを実践するために必要となる計測技術や、放射性物質の取り扱い方について学修する。さらに、医療の場において大切となる患者防護についても考える。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線管理の基本（放射線防護体系、放射線被ばくの現状） 2. 放射線防護の原則（外部被ばく防護、内部被ばく防護） 3. 管理計測と評価（環境の管理、個人の管理） 4. 放射線の遮へい（X線・γ線・β線・中性子線の遮へい） 5. RIの安全取り扱い（取り扱い上の注意、汚染の除去、RIの廃棄） 6. 放射線診断における患者の防護（X線診断、核医学診断）
履修上の留意点	関連する法令と関連させた視点で理解するよう心がけてほしい。
成績評価の方法	定期試験ならびに出席状況により評価する。
教科書	医用放射線科学講座4『放射線安全管理学第3版』（医歯薬出版）
参考書等	『ICRP Publication 60 国際放射線防護委員会の1990年勧告』（日本アイソトープ協会）

科目名	担当者名
技術英語	たかほし まさみ 高橋 優身

講義のねらい	放射線技師のための「専門英語」を習得することがこの科目の目標であるが、開講が半期のため、「信頼される」放射線技師であるための必須条件に絞って、関連の「専門英語」を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1回 Want to Be an R.T. ? (1) 2回 Want to Be an R.T. ? (2) 3回 ASRT Code of Ethics (1) 4回 ASRT Code of Ethics (2) 5回 Practice Standards (1) 6回 Practice Standards (2) 7回 Radiography Clinical Performance Standards (1) 8回 Radiography Clinical Performance Standards (2) 9回 Quality Performance Standards (1) 10回 Quality Performance Standards (2) 11回 Professional Performance Standards (1) 12回 Professional Performance Standards (2)
履修上の留意点	規定の出席率を越えた学生のみ試験受験資格を有する。予習が必要であろう。授業時の活発な発言を期待する。
成績評価の方法	試験および授業貢献度等を総合的に評価。
教科書	プリント配布。
参考書等	授業時に指示。
その他	演習形式で行うので、学生主体の授業である。

科目名

担当者名

画像工学実験

たかの まさお おおたに かつひこ
 高野 正雄・大谷 勝彦
 こんどう けいすけ せ お やすつぐ
 近藤 啓介・瀬尾 育弐
 のぐち まさる またの こうじ
 野口 勝・俣野 公志

講義のねらい

画像診断分野は急速にデジタル化が進行し、画像処理の知識や技術が大変重要になってきている。本実験では、デジタル画像処理とはどのようなものか、また画像処理が視覚による読影にいかにか有効であるかにつき、CR 画像形成システムや画像解析装置を使用して体験学習する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

テーマは大きく分けて二つに分かれている。一つのテーマについて 2 週間にわたって実験し、レポートをまとめる。

1. 画像診断の原点であるアナログの X 線画像とデジタルの X 線画像の画質解析。
 - ①胸部ファントム画像の視覚評価
 - ②MTF、Wiener Spectrum による物理評価
 - ③画像処理と画質の関係
2. CR 画像形成システムの画像データの特性解析
 - ①デジタル MTF、Wiener Spectrum、NEQ の測定
 - ②画像処理と NEQ の関係

画像処理の基本となる項目、標準化／量子化レベルの画像、ヒストグラム解析、各種フィルター処理等々について、4 テーマについて学習する。

 1. 一般画像についての画像処理
 2. 医用画像についての画像処理
 3. サブトラクション画像処理
 4. パントム、マンモ画像の画像処理

履修上の留意点

「画像工学概論」で学習した理論を確実な知識とするための実験科目である。そのため、事前に教科書を復習しておくこと。

診断のために、よりよい画質の医療画像を作り出す必要がある。物理評価・解析はそのための手段として、視覚評価は判断として大変重要なものである。実験中は撮影したファントム画像を良く観察し、また物理測定データを十分に検討して、内容のあるレポートにまとめて下さい。検討が不十分な場合は再提出をしてもらいます。

成績評価の方法

実験中の態度、レポート、中間試験、定期試験などを総合評価する。

教科書

配布プリントを使用する。

参考書等

画像工学概論教科書

その他

単位取得には所定のテーマを全て受け、レポート及び試験にパスする必要があります。

科目名

担当者名

放射線治療技術学実験

こやま まさき いいだ ゆきお
 小山 正希・飯田 幸雄
 さとう まさのり たかき たもつ
 佐藤 昌憲・高城 保
 はぶ いがらし たろう
 羽生 毅・五十嵐太郎

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実測技術の基礎を把握する。

講義の内容・
授業スケジュール

主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

- 1) 吸収線量の測定。
 高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここではCo・60線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合わせによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。Co60線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源-ファントム-電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。
- 2) フィルムによる放射線場の測定。
 計測器としてのフィルムは実時間（リアルタイム）応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここではCo60線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。
- 3) 半導体検出器によるα線の測定。
 表面障壁型半導体検出器を使用してα線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集取率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。
- 4) GM 計数管による線源のβ壊変率測定。
 GM 計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。
 実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

参考書等

日本医学物理学会編『外部放射線治療における吸収線量の標準測定法』（発行通商産業研究社）

科 目 名	担 当 者 名
放射線管理学実験	<small>あおき</small> 青木 <small>きよし</small> 清・ <small>かねこ</small> 金子 <small>じゅんいち</small> 順一 <small>すぎた</small> 杉田 <small>とある</small> 徹・ <small>ながい</small> 永井 <small>よしのり</small> 喜則

講義のねらい

エックス線撮影において患者被曝線量を把握しておくことは大切なことである。また、撮影状況によっては術者または患者周辺の人が被曝する場合もある。このような場合の被曝線量も知っておかなくてはならない。本実験では直接線や散乱線によりどの程度の被曝を受けるかを測定し、被曝低減の方策について考える。併せて、放射線管理業務上必須となるコンピュータによるデータ収集と機器制御についても実験する。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の項目について実験を行う。
1. 一般撮影における被曝管理
 2. CT撮影における被曝管理
 3. 乳房撮影における被曝管理
 4. 病室撮影における被曝管理
 5. コンピュータによるデータ収集
 6. コンピュータによる機器制御

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。また、放射線管理学、放射線計測学、診療画像情報学等での学修内容と関連づけながら実験を進めること。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名

担当者名

核医学検査技術学基礎実習

やまもと 山本 ゆうすけ 裕右・うじいえ 氏家 もりみち 盛通
きたざわ 北沢 ひでお 日出男・しんしろう 眞正 きよみつ 浄光
はらだ 原田 かずまさ 和正・むらかみ 村上 まさひろ 雅彦

講義のねらい

主として核医学検査技術学、放射化学領域における実験を行う。本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」、3年時に学ぶ「核医学」での知識を基に、ガンマカメラ、^{99m}Tcのミルクキング、核医学領域における非密封放射性同位元素の取扱い、放射線計測の基礎についての実験をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の項目について実験を行う。
1. ガンマカメラの性能評価：均一性、分解能、直線性などの基本性能試験
 2. ガンマカメラの各種撮像法：静止画像、全身画像、SPECT画像の撮像
 3. ^{99m}Tcのミルクキング a) コールドラン、b) ホットラン：^{99m}Tc ジェネレータからの溶出、溶媒抽出法による^{99m}Tcのミルクキング、ガンマ線スペクトルの測定、半減期の測定（ホットランは学外実習として行う）
 4. マイクロピペットの検定：重量法、吸光光度法
 5. フリッケ線量計による吸収線量の測定：線量計の調製、線量測定
 6. ポジトロン同時計数測定：PETの基本実験としてポジトロン放出核種を用いた同時計数測定
 7. マルチチャンネル計測法：マルチチャンネル波高分析器を使用しての未知核種のガンマ線スペクトル測定とその同定

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分におこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱い放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

日本アイソトープ協会編 『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会） 1,680円

科目名	担当者名
画像検査技術学実習	<small>はちや</small> 蜂屋 <small>じゅんいち</small> 順一・ <small>いいで</small> 飯田 <small>ゆきお</small> 幸雄 <small>おくやま</small> 奥山 <small>やすお</small> 康男・ <small>にしお</small> 西尾 <small>せいじ</small> 誠示

講義のねらい

これまでの講義や実験で習得した知識をもとに、実際の医療の現場で放射線診療の流れを見分し、診療放射線技師の役割を理解すると共に今後の学習に参考とすべき点を学ぶ。
 実習に先立って担当教員と実習病院指導者から必要事項のガイダンスをうける。

講義の内容・授業スケジュール

1. 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法
2. 実習病院の組織、機能、施設についての説明
3. 患者接遇など病院内で実習する上の心得
4. 分野別の実習
 - a. 一般撮影
 - b. 消化管撮影
 - c. 血管造影
 - d. X線CT
 - e. MRI
 - f. 救急医療での撮影

履修上の留意点

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格を取得するための必須科目となっている

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と学生の提出する実習報告書による

科目名	担当者名
画像診断技術学Ⅱ	<small>よし</small> 吉 <small>かわ</small> 川 <small>こう</small> 宏 <small>まき</small> 起

講義のねらい

診療放射線医学で扱う種々の画像診断モダリティにおける正常像と代表的疾患の異常像ならびに装置特有のアーチファクトについて学び、各疾患ごとの効率的な検査の進め方をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系、頭頸部、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、四肢関節系の各臓器における正常像と代表的疾患の異常像を対比して提示しながら特徴所見を解説していく。

履修上の留意点

画像診断モダリティーの種類と特徴、それぞれの画像法の原理について復習しておくこと。

成績評価の方法

出席率と小テスト、定期的筆記試験。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名

担当者名

線量計測工学

こやままさき
小山正希

講義のねらい

放射線計測に線量計測と呼ばれている分野がある。これは放射線線量の定められた単位系に基づいて、その線量概念にしたがい測定する放射線計測領域である。測定結果は線量単位で表されるので、エネルギー分布などの物理測定とは異なる領域となっている。線量計測を行なうにはまずその基盤となる線量単位を理解する必要がある。ここでは線量計測を念頭においた単位系の理解を主とし、また診療の場で特に主要となる線量計測の用電離箱型検出器について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容概要

- ① 放射線線量計測の意義と現状の概観
- ② ラディオメトリックな量・ドジメトリックな量
- ③ フルエンス・エネルギーフルエンス・放射エネルギー
- ④ カーマ・エアカーマ
- ⑤ 照射線量
- ⑥ 比エネルギー・吸収線量
- ⑦ 線量当量・実効線量
- ⑧ 線エネルギー付与・阻止能
- ⑨ 電離箱による線量計測
- ⑩ 電離箱の構造と性能

履修上の留意点

線量計測についての理解を深めるためには、各線量単位を把握することが基本であるがその項目的知識のみでは理解が困難である側面を持つ。それぞれの線量単位は長年にわたり変遷を重ねており、現在なお研究・改良がめまぐるしい。各線量単位相互の関係も含めて実用と概念とを結ぶ総合的視点を把握する必要が不可欠である。

成績評価の方法

授業への出席と中間試験・定期試験による

教科書

使用しない

参考書等

対象ごとに紹介する

科目名

診療画像情報学Ⅱ

担当者名にし おせい
西尾 誠示**講義のねらい**

ここでは実際の臨床写真を用いて生体と画像の因果関係を中心に、撮像技術および画像の品質管理も含めて講義する。診療技術科学コースの学生は最低限正常例については自ら解説できる能力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 概論
- (2) 画像に影響を及ぼす因子と画質の評価尺度
- (3) 胸部における単純像とCT像
- (4) 腹部領域における画像評価。
- (5) 乳腺 X 線画像の評価。乳腺画像の品質管理。
- (6) 頭部単純像の画像評価
- (7) 消化管造影像の評価
- (8) 椎骨の画像評価
- (9) 四肢骨の画像評価
- (10) 心・大血管の検査と画像評価
- (11) 腹部 CT 検査と画像評価
- (12) 頭部血管像と頭部 CT 像の画像評価

履修上の留意点

医療画像の画質の評価が出来るようになること。
正常な症例について解説できるようになること。

成績評価の方法

平常点、定期試験の結果を基に評価する。

教科書

放射線画像医学（医歯薬出版）3,800円

参考書等

講義用 CD およびプリント

科目名

臨床医療人間学Ⅱ

担当者名うじ いえ もり みち
氏 家 盛 通**講義のねらい**

医療の特殊性を理解し病院実習および就職後社会人として対応可能な人間性を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 4 年次前期の後半に実施される病院実習に関する手続き・注意事項ならびに院内での該当業務の内容について講義する。
- 2) 少子高齢化が進む中での医療の現状から医療の中での診療放射線技師の立場や業務について講義する。

履修上の留意点

学生であっても、病院実習中は社会人としての常識が要求されるのでこれらについても身につけるように努めること。

成績評価の方法

小論文と出席状況

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントまたはスライドによるデータを利用する。

参考書等

核医学検査技術学（南山堂）

科目名	担当者名
放射線治療技術学	高 山 誠 <small>たか やま まこと</small>

講義のねらい

各領域の疾患別について放射線治療の各論的項目を講ずる。
 診療放射線技師として認識していなければならない各領域の放射線治療の対象となる代表的疾患について講義を行い、放射線治療を行う際の治療計画や照射方法について実際の症例を提示して解説を行う。
 また、各領域における最新の放射線治療の技術的な動向についても取り上げる。

成績評価の方法

授業出席、受講態度などと定期試験による。

教科書

村上晃一著『放射線治療技術』
 立入弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	担当者名
画像と放射線治療	吉 川 宏 起 <small>よし かわ こう き</small>

講義のねらい

放射線治療は、放射線診断とともに医学における電離放射線利用の柱であり、現在も大きく進歩している領域である。本講義では各臓器における悪性腫瘍の病期決定に必要な画像情報とその検査法、放射線治療法について習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

中枢神経系、頭頸部、肺・縦隔、腹部、男性生殖器、女性生殖器、乳腺、骨軟部、血液・骨髄の各領域における悪性腫瘍の特徴、画像検査法と特徴的所見および放射線治療法について概説する。

履修上の留意点

放射線治療計画を行う上で必要な画像情報とそれを得るための撮影技術を理解する。

成績評価の方法

出席率および小テスト、定期的筆記試験による。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名**担当者名****放射線学総合演習**

かし 櫃 尾 英 次

講義のねらい

診療放射線技術科学に関して、講義、実験・実習および臨床実習等を学習してきたが、それらの総合的な学力および技術力を深めるため総合演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

この演習は、学生が主体となってグループを編成し、演習テーマを決めて自主的に学習を進めて行く。それぞれの専門科目の演習は、必要に応じて担当教員が支援する。また、国家試験の受験対策のため、模擬試験を複数回実施する。

診療放射線技師試験（第57回、平成17年3月実施）では、200問が出題され、科目別の出題数は下記の通り。

基礎医学大要 30問

診療画像機器学 20問 診療画像検査学 20問 核医学検査技術学 20問
放射線治療技術学 20問 エックス線撮影技術学 20問 小計100問

医用画像情報学 10問 放射線生物学 10問 放射線物理学 10問
放射線計測学 10問 放射線管理学 10問 小計50問

放射化学 8問 医用工学 7問 画像工学 5問 小計20問 合計200問

1年次および2年次で履修した科目は、前期の前半に復習し、前期中に全科目の復習と基礎的な学力を充実させるよう努力されたい。

履修上の留意点

目標とする学力に達していない学生に対しては、課題を与えて学内で自主的に自習させる。

成績評価の方法

1月および2月に行う定期試験の結果により評価する。

教科書

特に定めない。
必要に応じて教材用のプリントを使用する。

参考書等

『診療放射線技師 国家試験対策全科』改訂8版（金芳堂）7,800円＋税

科目名**担当者名****医療放射線科学論文講読**

よし かわ こう き 吉 川 宏 起

講義のねらい

診療放射線医学に関する英文に頻出する単語や熟語を習得し、英文論文の読み方を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

最初に頻出する単語や代表的な熟語についての解説を加える。次に放射線診断学における代表的な英文論文を選定し、購読を進めていく。

履修上の留意点

身に付けた単語や熟語をキーワードとして、医療関連の英語のホームページに入っていて情報を収集しながら医学英語に親しむようにする。

成績評価の方法

出席率、レポートによる。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名

担当者名

医療画像科学論文講読

たか の まさ お
高 野 正 雄

講義のねらい

医用画像処理（画質の改善、画像認識、データの圧縮／伸張等々）に関する日本語及び英文の論文を講読し、論文の読み方、書き方を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

ここ数年間の代表的な論文を総合研究テーマに合わせて選定し、講読を進める。

履修上の留意点

専門用語、参考文献の活用法などをしっかり身につけるように。

成績評価の方法

出席率及び講読した論文の理解度。

教科書

論文をプリント配布する。

科目名

担当者名

医療放射線科学総合研究

あおき きよし うじいえ もりみち
青木 清・氏家 盛通
おくやま やすお こやま まさき
奥山 康男・小山 正希
まとう まさのり すぎ た とおろ
佐藤 昌憲・杉田 徹
はちや じかんいち ほらだ かずまさ
蜂屋 順一・原田 和正
やまもと ゆうすけ よしかわ こうき
山本 裕右・吉川 宏起

講義のねらい

この科目は個々の学生の研究能力を高めることを目的としている。そのために各学生が、これまでに学修してきた基礎知識を生かして、医療放射線科学分野における諸問題を自分自身で解決することに挑戦する。したがって、通常の講義や実験と異なり、内容や結果が決まっているものではない。あくまで、各自が主体的に内容を深めていくことが大切である。学生には指導教員がつくが、教員の役割は研究の方向性や実施方法を示すことであり、実際に調査を行ったり、実験を行ったりするのはあくまで学生自身である。研究で得られた成果については、各自が報告書に纏め、研究発表会にて発表する。

講義の内容・授業スケジュール

研究は次のような手順で進める。

1. 興味ある分野についての学修
2. 研究テーマの決定
3. 研究テーマに関連する文献の調査
4. 問題点の検討や実験の実施
5. 報告書の作成
6. 成果の発表

履修上の留意点

学生自身が主体的に考え、実行することが大切である。

成績評価の方法

研究の進め方、報告書、発表に基づき総合的に評価する。

科目名	担当者名
医療画像科学総合研究	高野 正雄・榎尾 英次 熊坂 さつき・近藤 啓介 西尾 誠示・野口 勝

講義のねらい	これまで学習してきた基礎知識を使って、医療画像科学分野の諸課題について、解析実験や改善方法の探索などの研究テーマに挑戦する。これまでのような筋道が示された実験ではなく、日々試行錯誤の連続となるが、問題を解決するための工夫の楽しさを学修してほしい。研究で得られた成果は、研究報告書としてまとめ、また成果発表会で発表する。
講義の内容・授業スケジュール	研究テーマは1人1テーマを原則とし、担当の先生と話し合って選定する。 4月：テーマの選定と具体化。 5月 } : 文献調査、実験の実施 11月 } 12月：報告書まとめ 1月：発表準備
履修上の留意点	計画的に、自主的にテーマに取りくむように。
成績評価の方法	研究の進め方、工夫の度合い、報告書と発表のできばえ等を総合して評価する。

科目名	担当者名
核医学検査技術学実習	吉川 宏起・飯田 幸雄 氏家 盛通

講義のねらい	本実習は、放射線治療技術学実習と同時期に指定された病院にて実施する。実習生は、学内では経験できない臨床上の業務の流れや手技について習得する。そのためには、予習・復習を行い積極的に実習に臨み、将来医療技術者として必要な基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	平成18年度は、6月19日（月）より7月14日（金）までの4週間（土日は除く）首都圏の指定された病院で放射線治療技術学実習とともに実施する。実習病院では、経験豊かな担当者が診療業務を行いながら指導してくれる。
履修上の留意点	実習中は、医療人としての自覚を持ち、言葉使いや身だしなみには十分に注意することが大切である。守秘義務ならびに個人情報保護の観点からも、実習中に知り得た患者さんの情報を他に漏らしてはいけない。
成績評価の方法	実習病院からの“実習成績評価報告書”および実習生が提出する“病院実習報告書”などにより決定する。
教科書	使用しない。
参考書等	核医学検査技術学（南山堂）、病院実習要項

科目名

担当者名

放射線治療技術学実習

吉川 宏起・飯田 幸雄
佐藤 昌憲

講義のねらい

本実習は、核医学検査技術学実習と同時期に指定された病院にて実施する。実習生は、学内では経験できない臨床上の業務の流れや手技について習得する。そのためには、予習・復習を行い積極的に実習に臨み、将来医療技術者として必要な基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

平成18年度は、6月19日（月）より7月14日（金）までの4週間（土日は除く）首都圏の指定された病院で核医学検査技術学実習とともに実施する。実習病院では、経験豊かな担当者が診療業務を行いながら指導してくれる。

履修上の留意点

実習中は、医療人としての自覚を持ち、言葉使いや身だしなみには十分に注意することが大切である。守秘義務ならびに個人情報保護の観点からも、実習中に知り得た患者さんの情報を他に漏らしてはいけない。

成績評価の方法

実習病院からの“実習成績評価報告書”および実習生が提出する“病院実習報告書”などにより決定する。

教科書

使用しない。

参考書等

病院実習要項

科目名

担当者名

画像処理論

近 藤 啓 介

講義のねらい

医療現場においてデジタル化された画像は、画像処理をしてから医師により読影されている。画像処理には様々な方法があり、研究・開発が盛んに行われている。医師の望む画像を作成するためには画像処理の仕組みを理解する必要がある、そのためにはコンピュータの中でどのように処理されているかを理解する必要がある。

実際の医用画像に対して行われている基本的な画像処理の手法やデータ圧縮の方法などを解説する。そして、自らプログラミングすることにより画像処理の仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

フィルタリング
フィルタ
フーリエ変換
ハイパスフィルタ・ローパスフィルタ
ファイル形式
DICOM
データ圧縮

履修上の留意点

演習形式で行うので、積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価する。

教科書

近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、『医療画像処理実践テキスト』（オーム社）4,200円

科目名	担当者名
画像構築論 I	こん どう けい すけ 近 藤 啓 介

講義のねらい	近年の X 線撮影では CT (コンピュータ断層撮影) や MRI (核磁気共鳴映像法) などが普及してきています。これらの機器は計測されたデータをコンピュータで再構築する処理が不可欠となります。本講義では CT や MRI の画像構成手法を中心に 3 次元処理などの基本的な画像処理について解説します。
講義の内容・授業スケジュール	CT の画像再構成処理 MR の画像再構成処理 3 次元処理
履修上の留意点	演習形式で行うので、積極的に受講すること。
成績評価の方法	出席状況とレポート及び試験により評価する。
教科書	岡部哲夫・瓜谷富三編集、『医用放射線科学講座14 医用画像工学』(医歯薬出版株式会社)

科目名	担当者名
画像伝送論	こ ばやし まさ あき 小 林 正 明

講義のねらい	近年では PACS (Picture Archiving and communication System) が普及し、放射線科部門のみならず院内での検査画像運用が広くデジタル化されてきています。そのため、医用画像情報システムを構築し、運用を管理することも技師の重要な業務となってきました。本講座では、医療用画像データ伝送の基礎を学ぶとともに、院内画像情報システム構築を推進する為に必要な事項についても学びます。
講義の内容・授業スケジュール	H18年度後期12回の授業を行います。内容の概要は以下のとおりです。 <input type="checkbox"/> 医用画像情報システム (PACS) について <input type="checkbox"/> コンピュータネットワーク技術の基礎 <input type="checkbox"/> 医療情報システムとセキュリティ <input type="checkbox"/> DICOM について：医療用画像データの世界標準インターフェイスである DICOM の概要について学びます。 <input type="checkbox"/> システム運用：デジタル画像情報システムの構築例について学びます。
履修上の留意点	DICOM など教科書になっていない領域の情報もあるので、講義を良く聴いてください。
成績評価の方法	試験により評価します。
教科書	特にありません。
参考書等	日本医療情報学会『医療情報 医療情報システム編』ISBN4-88412-264-X 日本医療情報学会『医療情報 情報処理技術編』ISBN4-88412-266-6
その他	授業は、パワーポイントによるプレゼンテーションを中心に行います。主な内容はレジュメとして準備します。

科目名**担当者名****計算機言語論**こん どう けい すけ
近藤啓介

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されている。画像処理を行うためには、画像処理ソフトを利用する方法もあるが、新しい方法で処理する場合や、開発をするためには、自らプログラミングする必要がある。

この授業では、プログラミングのための基本的な知識を習得する。プログラミング言語はC言語を利用します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

変数とは
変数による計算
繰り返し文
分岐文
サブルーチン
出力
Σの計算
ソートプログラム

履修上の留意点

数学的な論理的思考能力を必要とします。複雑な計算ではないが、計算式を論理的に自ら作成する能力を必要とします。

画像処理言語論の受講にあたっては、この授業にてC言語の知識を習得している必要があるため、画像処理言語論の受講予定者は必ず受講すること。

授業の半分は演習を行います。積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価する。

教科書

プリントを配布する。

講義のねらい

宗教学とは通常世界の多様な宗教を様々な方法論を用いて分析し、その実態や機能を論究する学問である。他の学問分野と関連づける場合、宗教社会学・宗教心理学・宗教教育学等という具合になるのが慣例である。当該科目が宗教医療学とならないで、医療宗教学となっているのは何故であろうか。これは医療に関して宗教学的考察を行うのではないからである。むしろ医療的な視点から宗教を問うという方が良い。医療的な視点とは何か。それは科学技術の医学的理論と応用の世界である。その世界には科学的人間観が貫徹する。その人間観はキリスト教的な真理観に対抗して現れた人間機械論にも通じる。医療に当たる人は科学的な真理や技術に親しく、科学的な人間観を持ちやすいから、一方で哲学的・宗教的人間観の实在にも通暁することが求められる。医療行為が生な人間関係、人間観相互の葛藤・交流の場に他ならないからである。医療に従事する人が宗教を問い、宗教に関する正しい知識を持つことは、その人間観を広げる。医療宗教学は医療の世界に関わる人々にあえて宗教・人間・自己を問いかけてもらう教材を示し、共に認識を深め合うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず様々な人間観を提示する。医療の世界がどのような人間観に支えられているかを考えてみる。その有効性と問題性も取り上げる。科学や医療の発達は宗教の必要性を認めなくなるという議論もある。そこまで宗教を追いつめてみる。仏教・キリスト教・イスラムなどの世界の三大宗教や日本の神道などの多神教的民族宗教は医療の世界に貢献できる面があるのか、この問いに答えるための教材を提示することが講義内容となる。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。ただ私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名**担当者名****医療経済学**ながやま
永山くに子

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑮は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
(イ) レポート
(ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鍋田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

科目名**担当者名****医学特論**しまだもりお
嶋田守男講義の内容・
授業スケジュール

実際の症例による画像の技術評価すなわち単純レントゲン撮影、US、CT、血管撮影3D像それぞれについて画像の検討を行う。また短い時間で、しかも冠者に侵襲が少ない方法で診断するための手段について授業を行う。

成績評価の方法

出席率、小テスト、学期末の試験から評価します。

科目名**担当者名****放射線感光化学**やまもと ゆう すけ
山本裕右**講義のねらい**

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 放射線による発光現象の医療への応用
2. 増感紙に用いられる発光体とその特性
3. 輝尽発光とは
4. 輝尽発光体の歴史
5. BaFX:Eu 発光体の特性と発光機構
6. その他の輝尽発光体の特性
7. ISP の自然科学への応用
8. 輝尽発光現象の線量測定への応用

成績評価の方法

試験およびレポート。

教科書

使用しない。

参考書等S.Shionoya and W.M.Yen ed., *Phosphor Handbook*, CRC Press (1999).

科目名**担当者名****放射線化学特論**やまもと ゆう すけ
山本裕右**講義のねらい**

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかにして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかにして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、エキソ電子放出現象について言及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 固体の化学
2. 結晶の不完全さ、格子欠陥
3. 放射線と固体の相互作用
4. 放射線による発光現象
5. 熱ルミネセンスとは
6. グロー曲線の解析
7. 熱ルミネセンスの放射線計測への応用
8. 各種 TLD の特性

成績評価の方法

試験およびレポート。

教科書

使用しない。

参考書等S.Shionoya and W.M.Yen ed., *Phosphor Handbook*, CRC Press (1999).

科目名**担当者名**

放射化学特論

ほら だ かず まさ
原 田 和 正

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は^{99m}-テクネチウムをはじめとして、¹³³-キセノン、⁶⁷、⁶⁸-ガリウム、¹²³、¹²⁵、¹³¹-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用しての核医学検査技術学的な面については3年次の「核医学」で既に学んでいるが、本講義においてはin-vivo放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から、in-vivo放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同族元素別にまとめ、^{99m}-テクネチウムを中心に以下の内容について講義する。

1. テクネチウム（発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法）
2. キセノン、クリプトン（希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、^{81Rb}-^{81mKr} ジェネレータ）
3. ガリウム、インジウム、タリウム（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）
4. ヨウ素（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）

成績評価の方法

定期試験と平常点により評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

図書館書誌検索画面へ
データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）
1,680円を使用する。講義には必ず持参すること。

科目名**担当者名**

放射線被曝管理論

あお き きよし
青 木 清

講義のねらい

診療放射線技師としての業務を行う場合、患者並びに術者の放射線被曝の管理は大切なことである。この講義では被曝管理の考え方と現状について、最近の刊行物や論文を題材として学修する。特に、世界的な放射線防護の基準となっている国際放射線防護委員会（ICRP）の考え方の理解には重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

ICRPの刊行物を中心的教材として、放射線被曝管理の考え方、放射線被曝の指標となる諸量、放射線を用いる各種医療行為における被曝の現状と防護法について講義する。内容に応じて最近の論文や書物も教材として用いる。

履修上の留意点

放射線被曝管理の考え方の基本を理解するよう努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験ならびに出席状況により評価する。

参考書等

ICRP刊行物

Ⅲ 「日本語」・「日本事情」科目

「日本事情」
「日本語」

Ⅲ. 「日本語」・「日本事情」科目

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	放	半期	1	吉田露子	183
日本語入門Ⅰ b	放	半期	1	吉田露子	183
日本語入門Ⅱ a	放	半期	1	吉田露子	184
日本語入門Ⅱ b	放	半期	1	吉田露子	184
日本語Ⅰ a	放	半期	1	佐野典子	184
日本語Ⅰ b			1		
日本語Ⅰ a	放	半期	1	多田羅哲子	185
日本語Ⅰ b	放	半期	1	多田羅哲子	185
日本語Ⅱ a	放	半期	1	佐野典子	185
日本語Ⅱ b			1		
日本語Ⅱ a	放	半期	1	多田羅哲子	186
日本語Ⅱ b	放	半期	1	多田羅哲子	186
日本語Ⅲ a	放	半期	1	多田羅哲子	186
日本語Ⅲ b	放	半期	1	多田羅哲子	187
日本語Ⅲ a	放	半期	1	湯村礼子	187
日本語Ⅲ b			1		
日本語Ⅳ a	放	半期	1	石川守	188
日本語Ⅳ b	放	半期	1	石川守	188
日本語Ⅳ a	放	半期	1	湯村礼子	189
日本語Ⅳ b	放	半期	1	湯村礼子	189
日本語Ⅴ a	放	半期	1	石川守	190
日本語Ⅴ b	放	半期	1	石川守	190
日本語Ⅴ a	放	半期	1	多田羅哲子	191
日本語Ⅴ b	放	半期	1	多田羅哲子	191
日本語Ⅵ a	放	半期	1	石川守	191
日本語Ⅵ b	放	半期	1	石川守	192
日本語Ⅵ a	放	半期	1	多田羅哲子	192
日本語Ⅵ b	放	半期	1	多田羅哲子	192

《日本事情科目》

日本事情Ⅰ〔地理〕	放	半期	2	高橋健太郎	193
日本事情Ⅱ〔自然〕	放	半期	2	清水善和	194
日本事情Ⅲ〔歴史〕	放	半期	2	浅倉直美	195
日本事情Ⅳ〔思想〕	放	半期	2	菅原光	195
日本事情Ⅴ〔社会〕	放	半期	2	坪井健	196
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	放	半期	2	三竹直哉	197
日本事情Ⅶ〔文学〕	放	半期	2	勝原晴希	197
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	放	半期	2	菅原光	198
日本事情Ⅸ〔経済〕	放	半期	2	小林正人	198
日本事情Ⅹ〔経営〕	放	半期	2	羽鳥茂	199

「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名
日本語入門 I a	吉田 蒔子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門 I b	吉田 蒔子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名**担当者名**

日本語入門Ⅱ a

よしだ ふきこ
吉田 蒨子**講義のねらい**

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名**担当者名**

日本語入門Ⅱ b

よしだ ふきこ
吉田 蒨子**講義のねらい**

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名**担当者名**

日本語Ⅰ a

さの のりこ
佐野 典子

日本語Ⅰ b

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅰa	多田羅 哲子

講義のねらい	語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。
成績評価の方法	出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅰb	多田羅 哲子

講義のねらい	語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。
成績評価の方法	出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱa	佐野典子
日本語Ⅱb	

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱa	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。 テープで自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱb	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。 テープで、自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲa	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ b	多田羅 哲子

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。 ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。
講義の内容・ 授業スケジュール	ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。 聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ a	湯村 礼子
日本語Ⅲ b	

講義のねらい	これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。
講義の内容・ 授業スケジュール	新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。
成績評価の方法	期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。
教科書	最初の授業時に指定する。

科目名**担当者名**

日本語Ⅳ a

いし かわ まもる
石 川 守

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっています。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名**担当者名**

日本語Ⅳ b

いし かわ まもる
石 川 守

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を上げるために日本語Ⅳ aに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳ aの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分、受身・使役などをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅳ aの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名**担当者名****日本語Ⅳ a****湯村礼子**
ゆ むら れい こ**講義のねらい**

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名**担当者名****日本語Ⅳ b****湯村礼子**
ゆ むら れい こ**講義のねらい**

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。呼称や指示詞などはじめからじっくりやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴは、日本語Ⅵと日本語Ⅳの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。
履修上の留意点	日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい	日本語Ⅴaに続けて、日本語のしっかりとした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴaの続きをやっていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅴaと同じです。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。 それらを文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。
教科書	プリント配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	多田羅 哲子

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	石川 守

講義のねらい	日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本語Ⅴa、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。
履修上の留意点	日本語Ⅵは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人は日本語Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの三つをとることをお勧めします。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい

日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語Ⅵaの次の部分を行っていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	た たら あき こ 多田羅 哲 子

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	た たら あき こ 多田羅 哲 子

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名**担当者名**

日本事情 I [地理]

たかほしけんたろう
高橋 健太郎

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 地域文化と観光、(5) 地図と地名。
日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「英語web版教科書」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わしたweb版教科書を用意する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅲ〔歴史〕	あさ くら なお み 浅 倉 直 美

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅳ〔思想〕	すが わら ひかる 菅 原 光

講義のねらい

近世から近代の時期を対象とし、通史的に日本思想を取り上げる。まずは儒学を中心とする伝統思想の基本的な枠組みを押さえてから、西洋思想との出会いの意味を検証し、その出会いによってどのような形で日本の思想が再構築されたかを学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業計画は以下のとおり。
1. ガイダンス
 2. 政治思想の古典としての儒教と基礎概念
 3. 徳川初期の思想と儒教
 4. 日本における朱子学批判
 5. 国学とナショナリズム
 6. 西洋の衝撃
 7. 明治思想
 8. まとめ
- 授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名

担当者名

日本事情Ⅴ〔社会〕

つばい 井 健

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度（60%）＋課題レポート（40%）

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹直哉

講義のねらい	日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
講義の内容・授業スケジュール	<p>下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎議会制民主主義 ◎三権分立と二院制 ◎天皇 ◎選挙制度 ◎政党と派閥 ◎ナショナリズム ◎安全保障 ◎マイノリティ
履修上の留意点	出席と授業参加を重視します。
成績評価の方法	平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。
教科書	指定する予定はありません。
その他	I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	担当者名
日本事情Ⅶ〔文学〕	勝原晴希

講義のねらい	本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、日本の文学作品の紹介を通じて、日本のことばと文化に対する理解を深めることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本の文学作品を読み進めながら、幅広く日本文化のあり方を考える。最初の回に、日本文学・日本文化のどういう点に興味や関心を持っているか、アンケートをとり、できる限り要望にこたえたい。人数にもよるが、各自がテーマを選定し、調査研究して発表するという形式をとることもある。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。
成績評価の方法	出席状況を特に重視し、またレポート・発表・授業態度によって総合的に評価する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。
参考書等	授業時に紹介する。

科目名**担当者名**

日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕

菅原 光

講義のねらい

日本文化や日本人について、洋の東西も時代も問わず、様々な思想家が論じてきた。本講義では、代表的な日本文化論・日本人論を取り上げることにより、日本がどのように語られてきたのかという形で日本文化についての知識を学んでいくと共に、日本とは何か？日本人とは何か？さらには、日本人論が消費されるのは何故か？そういった点にまで踏み込んで考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 日本人論とは何か？
3. 江戸以前の日本人論
4. 明治時代の日本人論
5. 戦間期の日本人論
6. 戦後の日本人論
7. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名**担当者名**

日本事情Ⅷ〔経済〕

小林 正人

講義のねらい

第二次大戦後の日本の歴史について経済史の研究者により格好の書物が昨年出版されたので、これを教科書として使いながら、戦後の日本経済の歴史について講義する。講義の節目にいくつかのビデオ教材も提示し、日本社会の経済的側面について具体的な知識を提供する。受講生の日本語能力の向上にも役立つような講義にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の、下記の主要項目にかかわる部分を取り上げて講義する。また関連するビデオを講義の節目に提示して、具体的な知識を提供したい。

1. 占領と経済民主化
2. 高度経済成長
3. ニクソン・ショックと石油ショック
4. バブル経済の発生と崩壊

履修上の留意点

教科書の中の、あらかじめ指定される部分をよく読んで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、途中での教科書の音読(日本語能力)、期末のレポートにより総合的に評価する。

教科書

中村政則『戦後史』岩波新書、2005年(7月)

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の途中または後での質問を歓迎します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅹ〔経営〕	はどり じほろ 羽鳥 茂

講義のねらい	1980年代以降の日本経済の動向を振り返り、現状と課題を講義します。バブルの発生と崩壊、その後の長期停滞とデフレ脱却への試みなどが中心的なテーマとなります。
成績評価の方法	出席状況を特に重視するとともに課題レポートによって総合的に評価します。
教科書	教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。
参考書等	適時に紹介しますので、講義の理解とレポート作成に役立ててください。
その他	講義は日本語で行いますが、希望者があれば英語での対応も考えますので申し出てください。

「日本事情」
「日本語」

放射線治療技術実習	放4必	通年	2	吉川宏起 飯田幸雄 佐藤昌憲	172
画像処理論	放4必(画像)	半期	1	近藤啓介	172
画像構築論I	放4必(画像) 放1必(診療)	半期	1	近藤啓介	173
画像伝送論	放4必(画像) 放1必(診療)	半期	1	小林正明	173
計算機言語論	放3選	半期	2	近藤啓介	174
医療宗教学	放3選	半期	2	吉津宜英	175
医療経済学	放3選	半期	2	永山くに子	176
医療統計学	放3選	半期	2	近藤啓介	別紙
量子論	放3選	半期	2	小山正希	別紙
医学特論	放4選	半期	2	嶋田守男	176
医療生物学	放4選	半期	2	蜂屋順一	別紙
最新医療技術	放4選	半期	2	吉川宏起	別紙
放射線検出器工学	放4選	半期	2	小山正希	別紙
放射線感光化学放	4選	半期	2	山本裕右	177
放射線化学特論放	4選	半期	2	山本裕右	177
放射線学特論	放4選	半期	2	近藤啓介	別紙
診療機器システム学	放4選	半期	2	近藤啓介	別紙
医用材料工学	放4選	半期	2	榎尾英次	別紙
画像構築論II	放4選	半期	2	高野正雄	別紙
放射線被曝管理論	放4選	半期	2	青木清	178

科目名

担当者名

医療統計学

こんどう けいすけ

近藤 啓介

講義のねらい

医療に関する多数のデータを整理・解析するとき、統計学の知識が基礎となる。

授業では統計学の初歩的事項から実用的な統計手法までを解説する。特に、学生が統計学の理論を理解するだけでなく、実際の業務に役立つ手段として身につけることに重点を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

- ≫ 統計とは
- ≫ 検定と分散分析
- ≫ 相関と回帰
- ≫ 生存分析
- ≫ 重回帰分析
- ≫ ROC解析

履修上の留意点

演習を行います。自習をしっかりとすること。

成績評価の方法

演習とレポートにより評価。

教科書

プリントを配布する。

科目名

担当者名

量子論

こやま まさき

小山 正希

講義のねらい

量子論はミクロの世界を記述する理論であり、原始の振る舞いや、放射線に関連した現象の理解には欠かせないものである。本講義では、量子論が必要とされた経緯から始め、古典論では説明することができない諸現象を、量子論の手法で解説を行う。波動方程式の導出を行い、基本的な系における解法の説明を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、主に以下の内容について行う。

1. 光の諸現象
2. 波動と粒子
3. 原子の構造
4. 波動方程式の導出
5. 基本的な系での波動方程式の解

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価を行う。

教科書

必要な資料については、プリントを配布する。

科目名

担当者名

医療生物工学

はちや じゅんいち

蜂屋 順一

講義のねらい

最近急速な進歩と著しい発展をみせている新しい医療技術工学のうち、特に注目すべきものをとりあげてその概要を解説する。放射線医学技術以外の医学分野での最先端の技術について広く知識を得ることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 遺伝学の基本
2. 遺伝学的検査と診断
3. 分子遺伝学に基づく治療
4. 臨床で注目すべきバイオ技術
5. 臓器移植の現況と問題点
6. 人工臓器の現況と将来
7. 医療におけるロボット利用
8. ナノスケール技術の医療応用
9. その他

履修上の留意点

これまで学んだ放射線関連の講義、実習とは異なる分野となるが、広く医学の現況と動向を知る大切な機会ととらえて基礎から真剣に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況により評価する。

教科書

使用しない。必要に応じてプリント、資料などを配布する。

科目名

担当者名

最新医療技術

よしかわ こうき

吉川 宏起

講義のねらい

放射線分野における最近の医療技術の進歩について、とくに画像診断法とインターベンショナルラジオロジー(IVR)を中心に講義する。画像診断法では3次元超音波断層法、マルチスライスCT(MDCT)やポジトロンエミッションCT(PET)、超高磁場MRIなどについて、個々のモダリティの有用性と画像情報を融合する臨床的意義について講義する。IVRでは動脈塞栓術や血管形成術の最近の進歩について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. これまでの画像診断法(US、CT、MRI)
2. 超音波検査の進歩
3. CT検査の進歩
4. PET検査の進歩
5. MR検査の進歩(集束超音波療法含む)
6. IVRの進歩
7. IMRT(強度変調放射線治療)における画像診断の進歩

成績評価の方法

期末試験および授業中に実施する小試験、出席率により評価する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

科目名	担当者名
放射線検出器工学	こやま まさき 小山 正希

講義のねらい	既存の放射線検出器はごく限定された性能しか持たず、したがって限られた目的にのみ使用し得るものである。この事は新しく開発されている物についても同様である。検出器の性能・応答特性は検出器に使われている検出原理・素材・構造から形成されるが、検出器の使用にあたってはこれらの情報を基礎として目的の計測との整合性を考慮することが不可欠である。ここでは試みられている新種の検出器を含めてそれぞれの検出器について、これらの観点から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	① 種々の検出原理 ② 半導体検出器 ③ 電離箱の構造的諸問題 ④ シンチレーションカウンター・フォトダイオードシステム ⑤ ファイバー検出器 ⑥ 超伝導検出器 ⑦ ダイヤモンド検出器 ⑧ アミラン線量計 ⑨ TSEE線量計 ⑩ その他の試み
成績評価の方法	出席と期末定期試験の成績による総合評価。
教科書	教科書は使用せず、適宜プリントを配布する。

科目名	担当者名
放射線学特論	こんどう けいすけ 近藤 啓介

講義のねらい	医療放射線に関する分野では、装置的な面においても手法的な面においても、急速な発展を遂げている。この授業では、比較的新しい装置や手法として、コンピュータ支援診断について解説する。現在の画像と過去の画像を差分するテンポラルサブトラクション、エネルギーの異なる2枚の画像を差分するエネルギーサブトラクションなど、それぞれの手法や画像処理の方法について学習する。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ≫ コンピュータ支援診断(CAD) ≫ テンポラルサブトラクション ≫ エネルギーサブトラクション ≫ 病変抽出フィルタ ≫ その他の画像処理
履修上の留意点	毎週演習をおこないます。自習をしっかりとすること。
成績評価の方法	演習とレポートにより評価。
教科書	プリントを配布する。

科目名

診療機器システム学

担当者名

こんどう けいすけ

近藤 啓介

講義のねらい

診療機器は病院情報システム、放射線部情報システムやPACSなどのサブシステムであると同時に、それ自体システムとみなすことができる。そこで、まず、システムの信頼性をどう捉えるか、理論の基礎を解説する。次に、装置をシステムと見た場合の新しい構成要素のいくつかを代表的に取り上げ説明し、またCTやMRIの最近の動向を述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

- › システムの信頼性
 - › 平均故障間隔
 - › 平均修理時間
 - › 信頼性
 - › 可用性
 - › 保守性
 - › 完全性
 - › 安全性
- › システムとシステムズ・アプローチ
- › 最近のCT・MRI

履修上の留意点

毎週演習を行います。自習をしっかりとすること。

成績評価の方法

演習とレポートにより評価。

教科書

プリントを配布する。

科目名

医用材料工学

担当者名

かしお えいじ

檀尾 英次

講義のねらい

医用画像診断機器に関連する材料工学および医用生体工学で扱われている生体材料について学修する。医用画像診断機器に関連する材料としては、電気電子材料、磁性体材料、絶縁体材料および超電導材料などがある。また、医用生体工学で利用される生体材料は、バイオマテリアルと呼ばれ、メタル、セラミックスあるいはポリマー(高分子化学)についての基礎知識の理解が必要である。

講義の内容・
授業スケジュール

前半に医用画像診断機器に関連する材料、後半に生体材料について学修する。

- 1 電気電子材料
- 2 磁性体材料
- 3 絶縁体材料
- 4 超電導材料
- 5 生体材料
- 6 メタルとセラミックス
- 7 高分子材料

成績評価の方法

中間試験、定期試験および出席状況により評価する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書

電気学会大学講座「電気電子材料工学」電気学会、ME教科書シリーズ「バイオマテリアル」コロナ社

科目名

担当者名

画像構築論Ⅱ

たかの まさお
高野 正雄

講義のねらい

今日、医療用画像診断分野では、X線写真撮影をはじめとして多様な画像形成システムが使われている。本講義では、各種システムの画像構築方法を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

医療用画像形成システムでは、生体情報キャリアとしての線源とその検出器によって画像構築方法が異なる。ここでは、X線、超音波、静磁場中プロトン、RI、光、熱などを線源とした各種システムを分解し、各要素の特徴と診断目的にあった画像構築方法の考え方について述べる。

成績評価の方法

レポートおよび試験による。

教科書

使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

